

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度(新規)	くすみ・はまなす保育園、児童館	乳幼児
事業名	保育所、児童館、幼稚園などでの相談・支援事業		
計画体系	1-(1)- 身近で相談・援助などが受けられる体制づくり		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	公的施設などで子育てに関する専門相談員による相談・援助等を行います。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	保育園・児童館に配置されている子育て専門職員の知識経験を活用し、乳幼児開放事業(らっこひろば、こあらくらぶ、ころころ広場)に合わせ、育児相談を実施。このほか随時電話等による子育て相談を受けている。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	特筆すべき経費等はなし		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	多岐に渡る相談を受ける体制までには至っていないので一部対応に苦慮あり。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	引き続き実施。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	事業も広く認知されていると想定されることから、今後も課題等を検証しながら、保健師等の相談事業を展開する。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	くすみ・はまなす保育園、児童館	乳幼児
事業名	乳幼児開放事業の拡充		
計画体系	1-(1)- 身近で相談・援助などが受けられる体制づくり		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	地域の社会資源を有効活用し、身近な場所で利用できるよう体制整備を行います。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	くすみ・はまなす保育園 就学前の在宅幼児と親を対象に地域活動事業を実施。また地域交流促進事業として高齢者クラブ等との世代間交流も実施。 児童館 花川北・花川南児童館及びおおぞら児童館において週1回「ころころ広場」を実施(利用者数3,017人)。このほか花川北・花川南・おおぞら・花川児童館において幼児開放を実施(開催回数99回、利用者数2,532人)。		
保育所地域活動事業	子育て中の親などが気軽に集い交流できる場として保育園を活用し、地域における子育て家庭の子育てに関する相談、援助等が受けられるような体制整備を行う事業 ・はまなす保育園で「らっこひろば」を実施(開催件数18回) ・くすみ保育園で「こあらくらぶ」を実施(開催件数37回)		
地域交流促進事業	色々な人々との交流を通して子どもが社会性を身につけるため高齢者との交流を実施する事業 ・くすみ保育園で「世代間交流」を実施(開催件数5回)		
ころころ広場	放課後児童会の利用しない時間を活用し、親子で楽しめる遊びを通してふれあいを深めていき、乳幼児の発達を促していく。また、親同士の相談や交流を深めていく。		
幼児開放	放課後児童会の利用しない時間を活用し、乳幼児とその保護者を対象に自由に遊び、親子とのふれあいを促進している。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	くすみ・はまなす保育園 【経費】報酬、消耗品、備品など全体で789千円。(国交付金対象だが、他の項目と一括算入のため特定できず) 【人工】保育士1.5名×55日(開催半日+準備半日)=82.5人/日 児童館 【経費】 ころころひろば 624千円(道補助金416千円、市の一般財源208千円) 幼児開放 1,904千円(全額市の一般財源)		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	くすみ・はまなす保育園 事業の準備から実施にあたっては、保育士は通常保育を受け持っているため、この事業を実施していくには体制上の配慮が必要。 児童館 放課後児童会等が使用していない空き時間帯の利用となるため、平日の午後及び夏休み・冬休みなどの長期学校休業期間は事業実施ができない。特に、長期休校期間の事業展開が課題となっている。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	くすみ・はまなす保育園 「らっこひろば」はこれまでの隔週から毎週に回数を増大。 児童館 幼児開放事業については、長期休校期間、他の公共施設(北・南コミセン)で各々4回事業を実施する。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	参加者の要望等を参考にしながら引き続き実施予定。 また、児童館の幼児開放では育児サークルとの協働についても検討。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども室(子育て支援課)	全部会
事業名	子育てに関する総合窓口の整備		
計画体系	1-(1)- 子育てに関する総合相談支援体制の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもに関する相談・各種手続き等の窓口を総合的に整備し、子育て等に関する適確でわかりやすい情報提供を行います。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	保健福祉部こども室の設置 ・教育委員会から幼稚園業務を移管し、幼保事務の窓口一元化 ・市民部から乳幼児及びひとり親家庭医療費助成業務を移管し、児童に関する手当や助成制度の窓口一元化 ・教育委員会から「こども会」や「青少年育成協議会」の所管を移管し、保健福祉部所管の児童施設や子育て支援NPO法人との連携・協働を図る。 ・子育てに関する総合的施策の推進と情報発信。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	市役所内の事務移管のため、新たに発生する経費等は特になし。		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	幼保の所管の一元化など、業務移管による成果がある一方で、小中学校との連携については、やはり教育委員会で事務を所管していた時の方がスムーズであったと思われる。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	こども室内の事務分担が外部から分かりづらい面もあったので、概ね幼稚園事務を子育て支援課、保育園事務をこども家庭課に集約した。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	事務の分離統合は、やはり一長一短があるものと心得るので、当面、現行のままで取り進める。ただし、国において放課後児童会の所管(現在市ではこども室)を教育委員会に統一する動きがあり、その結果、こども室のあり方を再検討せざるを得ない場合も想定される。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度(新規)	子育て支援課	乳幼児
事業名	地域の育児サークル・NPO法人を支援し協働による事業		
計画体系	1-(3)- 地域の育児支援団体やNPO法人への支援		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	親子が気軽に集まれる「つどいの広場」などの運営・企画をNPO等と協働で実施します。		
つどいの広場	子育て中の親などが気軽に集い交流できる場で、育児の不安や疑問、悩みの問題解決の糸口になるような機会を提供する。子育て支援センターと同じく(センターより小規模で制約が少ない)国が推進する事業で、国の交付金対象である。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	市の委託事業として「つどいの広場」新規開設(4月) 名称:「子育てひろばりとりきず」 場所:花畔2条1丁目 北ガスプラザ石狩ビル1F コムステプラザ 事業主体:NPO法人 こどもコムステーション 事業内容:子育て相談、あそびのひろば(遊具のある広場=利用延べ人数 3,150人)、まなびのひろば(親子で参加できるセミナー等=利用延べ人数 198人)、あずかりひろば(託児=利用延べ人数 19人)		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	委託費 536万円 (うち国交付金 276万円 市の一般財源 260万円)		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	年度当初は利用人数が少なかったが、周知されるにつれ利用が拡大された。 【あそびのひろばの利用人数】 4~6月(延べ)594人 7~9月(延べ)833人 10~12月(延べ)831人 1~3月892人		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	引き続き「つどいの広場」を実施。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	育児サークル支援のため市が補助している「まちかどサポートセンター事業」は財政事情から見直しを検討中であり、その際、引き続き育児サークル等の活動を支援する必要もあり、児童館など公共施設の提供と「つどいの広場」化による事業展開等も合わせて検討している。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども家庭課	乳幼児												
事業名	一時保育事業の拡充														
計画体系	1 - (4) - 多様化する保育ニーズの体制整備														
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	冠婚葬祭、保護者の傷病、入院等により、緊急・一時的に保育を必要とする児童等を保育します。														
一時保育事業	児童が、断続的に保育に欠けるとき及び緊急かつ一時的に保育が必要なとき、又は育児に伴う心理的・肉体的負担を解消するために行っている一時的保育。市内3箇所の保育所(くろみ保育園、はまなす保育園、南線光の子保育園)で実施している。														
H17年度の取り組み 【具体的内容】	くろみ保育園、はまなす保育園及び南線光の子保育園の3園において一時保育事業を実施した(利用者 2,051人)。														
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<table border="0"> <tr> <td>くろみ保育園</td> <td>人件費1,011千円</td> <td>需用費11千円</td> </tr> <tr> <td>はまなす保育園</td> <td>人件費1,032千円</td> <td>需用費29千円</td> </tr> <tr> <td>南線光の子保育園</td> <td>交付金2,152千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,235千円</td> <td></td> </tr> </table>			くろみ保育園	人件費1,011千円	需用費11千円	はまなす保育園	人件費1,032千円	需用費29千円	南線光の子保育園	交付金2,152千円		合計	4,235千円	
くろみ保育園	人件費1,011千円	需用費11千円													
はまなす保育園	人件費1,032千円	需用費29千円													
南線光の子保育園	交付金2,152千円														
合計	4,235千円														
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	花川地区でのニーズが多く、くろみ・はまなす保育園では登園等に時間を要するため、南線光の子保育園に集中してしまう。														
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	引き続きくろみ・はまなす・南線光の子保育園3園において実施する。														
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	一時保育事業に対する市民ニーズが高いため、H19年度に実施保育園の増(1ヶ所程度)を検討。														

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども家庭課	乳幼児、学童
事業名	病後児預かり保育事業(派遣型)		
計画体系	1 - (4) - 多様化する保育ニーズの体制整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	保育所等に通所中の児童等が病気の回復期であり、集団保育の困難な期間、自宅にヘルパー等を派遣し保育します。		
病後児預かり保育事業(派遣型)	病気回復期にあつて、まだ保育所には通えない児童を保育士等が一時的に保育を行う事業。事前に登録を行い、必要となったときに市に申し込む。市内の幼稚園、認可保育所、へき地保育所、認可外保育所及び放課後児童会に通所する小学校低学年(3年生)までの児童が利用できる。なお、まだ治療が必要な病中児は対象とならない。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	病後児預かり保育事業をNPO法人北海道子育て支援ワーカーズに委託して行った(利用件数 2件)。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	委託料 16千円		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	派遣型は当該児童の自宅等での保育となるため、自宅受け入れに対する抵抗感等があると考えられ検討を要する。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	H18年度は、対象児童を幼稚園、認可外保育所、放課後児童会に通所する小学校低学年(3年生)まで拡大して引き続きNPO法人に委託して実施。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	病後児保育(施設型)の実施について検討。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度(新規)	子育て支援課、こども家庭課	乳幼児
事業名	教育・保育計画の公表、情報提供		
計画体系	1-(4)- 幼稚園・保育所の充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもを主体とする保育や多様な保育ニーズへの対応等、充実に努めます。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	教育及び保育計画の広報等による情報提供、市ホームページ「子育て便利帳」における幼稚園と保育園の情報提供並びに幼稚園ガイドの作成及び配布により、幼稚園、保育所等に関する情報提供の充実に努めた。		
教育・保育計画	各幼稚園・保育園ごとの年間計画。それぞれ内容等について国が定めている(幼稚園教育要領、保育所保育指針)。		
幼稚園ガイド・保育所ガイド	それぞれ幼稚園(5園)、保育園(へき地保育所や認可外保育所含む18園)の園ごとの概要や費用などをまとめた冊子。毎年度当初に手刷りで作成している。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 特にかかった経費はなし。 【人力】 計画のホームページ掲載:職員1名で実質1日程度 ガイド印刷:職員4名で実質4日程度		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	ガイドは園児募集時期(10月ごろ)に完成して配布できることが望ましいが、各園で年度開始前に決定できない事項もあるため、募集時期には、前年度のガイドを配布せざるを得ない。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	引き続き実施		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	市HP「子育て便利帳」や幼稚園ガイド、保育所ガイドは好評のため、今後も随時改良しながら続けていく予定である。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	子育て支援課、こども家庭課	乳幼児
事業名	教員・保育士の研修		
計画体系	1-(4)- 幼稚園・保育所の充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	よりよい保育のために、教員・保育士の研修を充実します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	私立幼稚園振興会及び保育所連絡協議会で研修会を実施。 私立幼稚園振興会(年1回) 子育て支援課 ・「和太鼓と獅子舞、親と子のわらべ歌」2月実施 保育所連絡協議会(年2回) こども家庭課 ・「遊具を使った遊び塾」(実技研修)7月実施 ・「乳幼児とその親への係わり支援」(講演)2月実施		
私立幼稚園振興会 保育所連絡協議会	それぞれ、市内の幼稚園、保育園(へき地保育所含む。)による全市的連絡協議会。主に課題研究や幼稚園教諭あるいは保育士の資質向上のための研修に取り組んでいる。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	・私立幼稚園振興会補助金 子育て支援課 50万円(通常分30万円 石狩支部研修会石狩市開催分20万円) ・保育所連絡協議会 こども家庭課 研修用講師謝金 7万円(市費計上)		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	お互いの研修に参加できる仕組みとなったが、幼稚園教育・保育の枠を超えての参加は少なかった。初めてのことで遠慮もあるかと思うが、時期・時間帯の配慮もまだ検討の余地があるかと考える。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	私立幼稚園振興会(年1回) 子育て支援課 ・詳細未定 保育所連絡協議会(年2回) こども家庭課 ・「子どもの発達段階に合わせた体育指導」(実技研修)7月実施 ・2月実施予定分は詳細未定		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	研修の合同実施なども検討し、さらに費用対効果を高めていきたい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども家庭課	乳幼児
事業名	認可外保育所等への助成や資質向上の指導・助言		
計画体系	1 - (4) - 民間保育所等の支援		
認可外保育所	児童福祉法に基づく認可を受けていない保育施設の総称で、設置に関して規制はないが、入所児童数や運営形態等により知事に届出が必要な施設がある。保育を行う上では、職員配置基準、保育室の構造設備、非常災害対策等についての指導監督基準が示されている。利用できる家庭の制限はなく、利用料も施設と利用者の契約によって決められる。		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	認可外保育所等の柔軟な保育サービスに対し助成するとともに、運営状況の実態把握及び指導を通じて保育サービスの質の向上に努めます。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	石狩市認可外保育運営交付金交付要綱に基づき、石狩共同乳児保育園たんぼぼ、乳幼児保育はらっぱ及び保育ルームみつばちマーヤの3園に交付金を交付した。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	市交付金 ・石狩共同乳児保育園たんぼぼ 4,300千円 ・乳幼児保育はらっぱ 1,635千円 ・保育ルームみつばちマーヤ 458千円		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	市交付金については、引き続き3園と新たに1園助成予定である。また、石狩市保育所連絡協議会主催年2回の保育士等研修会に積極的に参加を呼びかける。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	認可外保育所への助成は、認可保育所待機児童の受け皿として実施しているが、児童の保育の本旨としては、認可保育所で保育が行われることが当然望ましい。このことから、本市の次世代育成行動計画の数値目標に掲げている認可保育所定員増に向け、まず認可保育所の早期整備に努め、待機児童の解消を図りたい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども家庭課	乳幼児
事業名	保育所の適正配置・入所数などの整備		
計画体系	1 - (4) - 効率的な保育所の運営		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	入所希望児童などが、すべての地域で、公平に保育サービスが受けられるよう整備します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	保育所の適正配置及び入所数の整備を行うため、市内の幼稚園及び保育所に保育所新設の意向調査を行った。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	特にかかった経費等はなし。		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	市の危機的財政状況下において、市立の保育所整備は困難であり、法人立の保育所整備市単費の助成は難しい。そのような中で認可保育所の設置促進に努めなければならない。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	H19年度保育所開設に向け、設置予定法人と協議。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	花川周辺地域に、19年度の保育所新設を目指すほか、20年度以降さらに1ヶ所程度保育所新設を検討し、待機児童の解消を図りたい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども家庭課	乳幼児
事業名	障がいのある乳幼児保育の向上にむけた整備		
計画体系	1 - (4) - 障がい児保育の充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	障がいのある乳幼児の健やかな発達を支援し、身近な地域で安心して生活できるよう支援します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	障がい児補助金を石狩仲よし保育園及び南線光の子保育園の2園に給付した(入所人数5人)。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	市交付金 ・石狩仲よし保育園 2,152千円 ・南線光の子保育園 2,152千円		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	現在花川地区の南と北に1園づつ開設されているが、保護者の利用や地理的なことを考慮した場合、南と北の中間地点にさらに1園の開設が望まれる。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	引き続き石狩仲よし保育園及び南線光の子保育園の2園において障がい児保育を実施する。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	障がい児保育の充実を図るため、さらに1園の開設を検討する。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	協働推進・男女共同参画担当、商工労働観光課	全部会
事業名	男性を含めた働き方の見直し・多様な働き方の実現		
計画体系	1 - (5) - 男女共同による子育ての推進		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	男女が共に子育てに参加し、仕事と家庭のバランスがとれるよう多様な働き方の見直し等の意識の浸透等を進めるため、講習会・広報等による啓発活動を行います。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	協働推進・男女共同参画担当 男女共同参画フェスタの開催、男女共同参画のホームページの開設、男女共同参画パンフレットの作成及び配布、育児休業取得に関する研修会の開催等 商工労働観光課 広報や市HPによる仕事と家庭の両立を支援する北海道の施策のPR		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	協働推進・男女共同参画担当 男女共同参画フォーラム 【経費】 10万円(講師・パネラー謝金 9万円、その他消耗品費 1万円) 【人力】 準備期間:職員2名で1週間程度、開催日当日:職員6名 その他啓発活動 【経費】 特にかかった経費はなし。 【人力】 職員1名で100日程度 商工労働観光課 【経費】特にかかった経費はなし。 【人力】年数回の投稿で年トータル1~2時間の事務、0.1人工未満		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	協働推進・男女共同参画担当 一般市民を対象としたフォーラムやセミナーでは託児を設けるなどの配慮はしたが、参加者が非常に少なかった。日時、会場、参加対象などを検討し、参加しやすい事業の工夫をしていく必要がある。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	協働推進・男女共同参画担当 男女共同参画フォーラムの開催(11月18日、りんくる交流活動室) 厚田・浜益地区の女性団体との交流と女性リーダー養成 こども室と連携し、育児休業法等の周知・啓発や子育て講座の開催 事業所におけるセクシュアル・ハラスメント防止のための意識啓発 商工労働観光課 H17年度と同様		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	協働推進・男女共同参画担当 セミナー等の開催やパンフレットの配布にあたっては、広く一般市民を対象としたものだけでなく、育児サークルや事業者など、対象者を限定して啓発を実施していきたい。 商工労働観光課 事業者側の意識啓発		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	商工労働観光課、行政管理課	全部会
事業名	事業所等への育児支援制度の周知、啓発		
計画体系	1 - (5) - 子育てを支援する就労づくり		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	育児休業等の取得率等の向上に向け、事業所等に意識啓発・周知活動を行います。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	<p>商工労働観光課</p> <p>育児休業等の取得率の向上にむけて、市内約700事業所の労働実態調査の際、また、商工会議所無料職業紹介所(H17年11月開設)において、求人企業に対し、「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」に関するリーフレットを配付。</p> <p>行政管理課</p> <p>市職員向けに、男性職員の育児休業者と長期間の育児休業者の育児休業体験発表会を開催し、今後育児休業の取得を考えている職員への情報提供の機会や、同僚への育児休業の理解を深める機会を設けた。</p>		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>商工労働観光課</p> <p>労働実態調査の際パンフレットを同封し事業者の意識啓発を行う～経費0(パンフレットは男女共同参画で作成)、年1度市内約700の事業所宛の封筒への折込作業、0.1人工未満</p> <p>行政管理課</p> <p>特にかかった経費等はなし。</p>		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	<p>行政管理課</p> <p>女性職員の育児休業については、ある程度認識され、実際に取得していることが多いが、今後は、男性職員の育児休業への認識を高める必要がある。</p>		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	<p>商工労働観光課</p> <p>H17年度と同様</p> <p>行政管理課</p> <p>配偶者出産時等の男性職員の休暇取得率を高めることにより、今後の男性職員の育児休業の認識を高めていくこととする。</p>		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	<p>商工労働観光課</p> <p>労働実態調査を活用し就業環境の実体把握に努め、関係所管への情報提供や事業展開に寄与する。</p> <p>行政管理課</p> <p>市の特定事業主行動計画にもあるが、毎年1人以上の男性職員の育児休業の取得者を目指していくこととする。</p>		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども家庭課	乳幼児、学童
事業名	児童手当助成事業		
計画体系	1 - (6) - 児童手当・乳幼児医療費等の助成		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子育てで家庭の生活の安定と子どもの健やかな育みを目的に、子どもと生計関係のある父母等に手当を支給します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	子育てで家庭の生活の安定と子どもの健やかな育みを目的として、子どもと生計関係のある父母等に対し児童手当を支給した(支給延児童数 51,543人)。		
児童手当	<p>対象年齢 小学校修了前の児童</p> <p>(月額) 第1子 5千円 第2子 5千円 第3子以降1人増すごとに 10千円加算する。</p> <p>所得制限あり</p>		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>【経費】 児童手当 支給額 294,450千円</p> <p>【人工】 1人(通年担当)</p>		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特になし。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	予算額 346,008千円		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	引き続き実施。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども家庭課	乳幼児
事業名	乳幼児医療費の助成事業		
計画体系	1 - (6) - 児童手当・乳幼児医療費等の助成		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	乳幼児に対し、医療費の一部を助成します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	乳幼児の保健の向上と福祉の増進を図ることを目的として、乳幼児医療費を支給した(受給者数 2,911人、件数 49,521件)。		
乳幼児医療費助成	対象年齢 ~ 就学前まで 給付の範囲 ~ 保険内診療の医療費の内、自己負担限度額を超えた分を助成 自己負担額(外来) ・4歳未満児または低所得者 初診時一部負担のみ(医科580円・歯科510円・柔整270円) ・課税世帯 1割負担(月額上限12千円) 自己負担額(入院) ・初診時一部負担金のみ(一部負担金は外来と同じ)		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 支給額 85,845千円 【人工】 1人(通年担当)		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特になし。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	予算額 83,514千円		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	乳幼児の健康保持だけでなく、年少人口及び生産年齢人口の誘導策として、本市の少子高齢化対策としても重要。引き続き実施する。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	子育て支援課、学校教育課	全部会
事業名	就園奨励費、就学援助等の助成事業		
計画体系	1 - (6) - 幼稚園等の奨励費など各種制度の実施		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	幼稚園に通わせる家庭に就園奨励費の支給や経済的理由による就学困難な小・中学校児童生徒に就学援助費を支給します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	子育て支援課 ・幼稚園就園奨励費:対象者数 683人 学校教育課 ・小中学校就学援助費:対象者数 1,252人 ・小中学校特殊教育就学奨励費:対象者数23人		
就園奨励費、就学援助費	就園奨励費: 幼稚園に通わせる家庭に所得に応じて保育費の一部を補助(補助した額のうち国が3分の1、残り3分の2を市町村が負担する) 就学援助費: 経済的理由による就学困難な小・中学校児童生徒に援助費を支給するもの(国の補助事業であったが、三位一体改革により経費の大半が市町村の負担となった)。 特殊教育就学奨励費: 特殊学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため奨励費を支給するもの。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	子育て支援課 就園奨励費 5,153万円(国補助金 1,228万円 市一般財源 3,925万円) 学校教育課 ・就学援助費 9,913万円(国補助金 18万円 市一般財源 9,895万円) ・特殊教育就学奨励費 141万円(国補助金 40万円 市一般財源 101万円)		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	子育て支援課 引き続き実施(国補助制度の改正がなされ、対象が拡大された) 学校教育課 継続実施		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	子育て支援課 子育て支援は国・地方共通の課題であり、今後とも就園奨励費を実施していくが、本来3分の1を国が補助する仕組みであるにもかかわらず、実質4分の1以下になっていることから、ルールどおりの補助を国に対し強く求めていく。 学校教育課 就学援助費はH17年度に認定基準の見直しを実施したが、認定率が24%と高く、さらなる見直しが求められている。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども家庭課、児童館	全部会
事業名	利用者負担のあり方の検討		
計画体系	1 - (6) - 費用負担の在り方		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	保育料、各種助成事業など、利用者負担のあり方等を検討します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	児童館 ・放課後児童会を市内10箇所で開催(2箇所NPO法人委託) ・利用料(保育料)は無料(おやつ代月1,500円父母の会で徴収) こども家庭課 3市村合併により、へき地保育所における保育料や保育サービスの格差について、合併時の調整を行った		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	児童館 特にかかった経費等はなし。 こども家庭課 特にかかった経費等はなし。		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	児童館 受益者負担の公平の実施がされてなかった。 こども家庭課 合併時の調整はあくまで暫定的であり、今後保育料の統一並びに送迎バスや給食など不均一サービスのあり方について取り組んでいく必要がある。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	児童館 他市の動向調査や保育園、幼稚園、小学校等に対するアンケート調査を実施し、有料化について検証・検討する。 こども家庭課 保育料の統一・サービスのあり方について、庁内園長会議において検討を開始。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	児童館 有料化については、公平負担の観点から、いしかり子ども総合支援会議及び社会福祉審議会における審議結果を踏まえ検討する。 こども家庭課 サービスのあり方も含め、地域事情を考慮し、段階的な保育料金の統一を図っていく。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	社会教育課	乳幼児
事業名	家庭教育学級の充実		
計画体系	2 - (1) - 幼児教育の充実		
家庭教育学級	親が家庭でこどもの教育・しつけを行ううえで必要な心得、こどもへの接し方など望ましい家庭のあり方を学ぶ場を提供するもの。		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	家庭を見つめ直し、自信の持てる子育てができるよう父親や地域を取り込むなど、家庭教育の充実を図ります。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	家庭教育学級の充実を図るため、家庭教育学級を開設した市内私立幼稚園に交付金を交付した。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	225千円(市内5幼稚園に各4万5千円)		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	道の調査では、青少年の指導や育成に当たっている人の9割が「家庭でのしつけなど子どもへの教育力が低下している」と感じているとのことであるが、離婚の増加で保護者が一人しかいない家庭や、不況により2人ともフルタイム労働の家庭が増えていること、あるいは、核家族化の影響もあり、社会的に大きな課題ではあるが、抜本的な対策は難しい面がある。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	対象を広げるため、私立幼稚園以外に、石狩市PTA連合会を通じ、希望する単位PTAにも交付金を交付することで、事業の実施を呼びかけた。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	さらに対象を広げ、効果的に運用するため、現在の対象以外に自主的に計画を立てて家庭教育学級を開設する者を募り、交付金を交付するようにしたい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	子育て支援課	乳幼児、学童
事業名	幼児教育のあり方の研究		
計画体系	2 - (1) - 幼児教育の充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	幼児教育の振興や幼稚園・保育所等と小学校との連携などを研究します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	幼児教育の振興と研究・研修のため私立幼稚園で構成する幼稚園振興会に補助金を交付した。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【再掲】 私立幼稚園振興会補助金 50万円(通常分 30万円、石狩支部研修会石狩市開催分 20万円)		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	小学校との連携の研究については教育委員会で取り組む連携教育の推進と整合・調整が必要。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	引き続き、私立幼稚園振興会への補助により実施		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	幼児教育の研究・研修については、保育所連絡協議会の研修との連携など、費用対効果を高めていきたい。 小学校との連携については、H18年5月に教育委員会が設立した石狩市連携教育推進会議の中で取り組む。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度(新規)	地域教育推進室(企画調整担当)	全部会
事業名	幼稚園、保育所等と小学校教員との交流研修		
計画体系	2 - (1) - 幼児教育の充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子ども一人ひとりに応じた指導などの向上にむけ、幼稚園等との交流や研修を行います。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	子ども一人ひとりに応じた指導等の向上にむけて、小・中学校短期教員交流を幼稚園、小・中学校間において実施した。また、幼稚園、小、中、高校による基本的な生活習慣や生徒指導などの一貫性を図るための「連携教育推進会議」の開催に向け準備会を設置し、具体的な施策方法等について話し合った。		
小・中学校短期教員交流	学習指導や生徒指導について相互理解を深めるとともに、校種それぞれのよさを取り入れた指導体制や指導方法の改善・充実を図ることを目的としたもの。		
連携教育推進会議	小・中学校短期教職員交流の実績を踏まえ、幼稚園、保育所さらに高校も含め、一貫性のある指導を行うことを目的に市内幼稚園、保育所、小中高校教職員等で構成する会議		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	特にかかった経費等はなし。		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	基本的な生活習慣を身につけさせることが重要であり、個々の取り組みだけでは限界があり関係機関の連携はもとより地域も巻き込む必要がある。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	幼稚園、小中高校教職員による連携教育推進会議を開催、取り組みの方向性実施内容について承認され、中学校区を基本単位として統一指導目標の策定など具体的に取り組みを進めている。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	H18年度の成果と課題を検証し、連携教育の定着を図る。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	子育て支援課	乳幼児
事業名	幼稚園教育の振興		
計画体系	2 - (1) - 幼児教育の充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	人間形成の基礎を培う幼児期の教育を充実するため、環境整備や障がいのある子どもの受入れ、特色ある教育活動等を支援します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	私立幼稚園教育振興交付金の創設(私立幼稚園運営補助金等の再編) 教材・教具・図書等整備(私立幼稚園の教育環境の向上のため、園児数に応じて交付) 障がい児教育事業(障がい児教育の推進のため、障がい児受け入れ園に交付) 水泳学習事業(幼児期の体育向上のため、水泳学習実施に応じて交付) 預かり保育(子育て支援のため預り保育を行う園に交付)		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	私立幼稚園教育振興交付金(交付先 市内4園 698万円) 教材・教具・図書等整備(園割 144万円【1園36万円】 園児数分 286万円【1児6千円】) 障がい児教育事業(3園17名 146万円【1児86千円】) 水泳学習事業(4園 42万円【プール指導員5千円/回・教諭プール使用料】) 預り保育(4園 80万円【1園につき20万円】)		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	当初5園に交付決定したが、1園において虚偽申請がなされていたので、当該園の交付決定を全額取り消した。審査を実績報告段階に置いていたので、交付決定時の審査が機能していない。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	交付決定(特に園児数分の交付)については、交付申請時の現地調査により確認することに変更。交付金制度は引き続き実施。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	この財政支出は、国や道の補助事業に基づくものではなく、全くの市の独自事業である。市では現在、財政破綻を回避するため集中改革プランを行う予定であり、このような単独事業の今後は、財政状況により大きく影響される懸念がある。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	学校教育課	学童、思春期
事業名	福祉、環境、道德教育の推進		
計画体系	2 - (1) - 豊かな心と健やかな体を育む教育環境の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもたちの豊かな人間性や社会性を育むため地域の人材や副読本等を活用し、学習内容の充実を図るとともに、指導者の研修機会を提供します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	子どもの豊かな人間性、社会性等を育むため、副読本を活用するなど学習内容の充実を図りながら、学校版環境!S.O、ボランティア活動などに取り組む等、福祉教育、環境教育及び道德教育の推進に努めた。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	・社会科の副読本作成費 829万円(合併に伴い改定、小3、4)、 ・環境副読本(「石狩の環境」「環境家庭ノート」) 59万円(小4、中1) ・福祉人権読本 0円(隔年でH18年度は58万円)(小5、6)		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特になし。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	継続実施。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	副読本によっては、年間数時間しか使用しないものもあることから、経費対効果面から副読本を児童配本ではなく、学校配本形式を検討する必要がある。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	地域教育推進室(企画調整担当)	思春期
事業名	男女共同参画意識の高揚		
計画体系	2-(1)- 豊かな心と健やかな体を育む教育環境の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	次代の親となる中高校生と乳幼児とのふれあいの機会など、子どもや家庭の大切さへの理解や男女が協力して家庭を築く意義等の学習の機会を充実します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	中学校で実施している職業体験学習において、幼稚園及び保育所が受け入れ先として協力することにより、中学生の乳幼児とのふれあいの機会を提供した。		
職業体験学習	主に中学生の勤労観、職業観を身につけさせるため、職業体験学習実施に向けた受け入れ事業所等に関する情報提供や商工会議所への協力依頼を実施した。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	特にかかった経費等はなし。		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	生徒の希望に沿った受け入れ可能な事業所の確保		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	市内9中学校で実施		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	受け入れ可能な事業所の開拓を継続する。厚田区、浜益区との連携を模索		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	子育て支援課、公民館	学童
事業名	体験型学習や体験型社会見学等の充実		
計画体系	2-(1)- 豊かな心と健やかな体を育む教育環境の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	社会の変化の中で主体的に生きていくことができるよう様々な体験の機会を充実します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	<p>子育て支援課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いしかりふるさと探検隊スリーラインキャンプ2005(合併記念事業) 主催:青年会議所・市子連・3市村 期間:7/30~8/1 参加者:85名(小学4~6年) 内容:石狩・厚田・浜益の自然を宿泊学習を通じて体験するもの。</li> <li>ふるさと新発見バスツアー(合併記念事業) 主催:市子連・3市村 期日:9/10(土) 参加者:20名(小学4~6年) 石狩・厚田・浜益の自然を含めたふるさと見学</li> </ul> <p>公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こども体験広場 主催:公民館 期間:5月~3月まで10回開催 参加者:総計335名 内容:子ども達の生きる力を育むため様々な体験をする機会を提供する。テーマは「食」 対象 小学4~6年生</li> <li>海水で塩をつくろう 5月21日 39名</li> <li>キャラメルをつくろう 6月18日 37名</li> <li>ねじりパンを焼こう 7月16日 40名</li> <li>トマトジュースをつくろう 8月20日 20名</li> <li>落ち葉で焼き芋を焼こう 10月15日 39名</li> <li>せんべいをつくろう 11月19日 39名</li> <li>餅つきをしよう 12月17日 30名</li> <li>木の実のクッキーを焼こう 1月21日 21名</li> <li>アイスクリームをつくろう 2月18日 34名</li> <li>ぶたまんをつくろう 3月18日 36名</li> </ul> <p>親子体験広場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主催 公民館</li> <li>内容 親子での共同作業や共通体験を通じてふれあいを深め、また知識や技術の習得のきっかけづくりとする。</li> <li>対象 小学1~3年生の親子</li> <li>アウトドアクッキング 7月9日 18名</li> <li>ネイチャーゲーム 11月5日 24名</li> </ul>		

次世代計画年次別事業カード(H17年度)

<p>かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】</p>	<p>子育て支援課                  ・いしかりふるさと探検隊スリーラインキャンプ2005                  【経費】 青年会議所・市子連が支出。                  【人力】 準備に職員3名で実質4日程度 期間中は職員9名で3日                  ・ふるさと新発見バスツアー(合併記念事業)                  【経費】 市子連が支出。                  【人力】 準備に職員2名で実質2日程度 期間中は職員6名で1日                  公民館                  ・こども体験広場                  【経費】 公民館が支出。5万5千円                  【人力】 毎回準備に職員1名で3日、当日は職員3名で1日、有償ボランティアリーダー内容により1~2人                  ・親子体験広場                  【経費】 公民館が支出。5千円                  【人力】 毎回準備に職員1名で3日、当日は職員2名で1日</p>
<p>課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】</p>	<p>・リピーターが多いのは望ましいが、一方では応募者に固定化が見られた。 子育て支援課、公民館                  ・事業によっては、定員に対して参加者が少なすぎる事業もあった為、募集方法について再考しなければいけない。 子育て支援課                  ・毎月での開催であり、他の団体や機関の事業と日程や内容等の重複が見られた。 公民館</p>
<p>今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】</p>	<p>子育て支援課                  ・ふるさと新発見バスツアーは市子連主催で今年度も実施。                  ・市子連と共催で、消防署横の市有地にて子ども達が自由な遊び場を作り上げる「町のはらっぱ事業」を展開する。                  公民館                  子ども体験広場                  テーマは「自然」                  ・流木でアートしよう 5月20日                  ・ストーンアートしよう 6月17日                  ・レッツ！カニつり 7月15日                  ・川あそび 8月19日                  ・ウッドクラフト 9月9日                  ・山登り 10月14日                  ・未定 11月18日                  親子体験講座                  2講座(未定) 11月~12月</p>
<p>今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】</p>	<p>子育て支援課、公民館                  様々な市民団体との協働により、充実した事業が可能となることから、今後も、市独自ではなく市子連をはじめ、色々な機関や団体との協働を図っていく。</p>

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	市民図書館	全部会
事業名	子どもの読書活動推進		
計画体系	2 - (1) - 豊かな心と健やかな体を育む教育環境の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもの豊かな心を育むため、幼児期から成長段階に即した読書の普及を推進します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「赤ちゃんとおもちゃのへや」(月1回)</li> <li>・本館おはなし会(毎月第1・3・5土曜/第2・4日曜、その他クリスマス会など)</li> <li>・花川南分館おはなし会(毎月第2土曜)</li> <li>・八幡分館(毎月第4土曜)</li> <li>・学校等でのおはなし会(不定期)</li> <li>・図書館まつり(11月3・4・5・6日開催)</li> <li>・ブックスタート学習会(全6回)</li> <li>・学級団体貸出(参加小中学校8校)</li> <li>・市内文庫への団体貸出</li> </ul>		
ブックスタート	赤ちゃんの心とことばを育むため、乳児健診(10ヶ月健診)時に地域のボランティアが赤ちゃんと保護者の方へ1対1で絵本の読み聞かせを行ない、図書館職員が保護者一人一人へブックスタートパックを手渡す。このことを通し、絵本のもつ力を保護者の方に理解していただき、家庭での絵本読み聞かせを啓発する。		
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	事業費 663千円(講師謝金 261千円、消耗品等 97千円、食糧費 5千円、図書費 300千円)		
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	ブックスタート開始にあたり、市民ボランティア・保健福祉部との事前の勉強会や打合せを重ねる中で、事業に対する考え方の統一や情報の共有化、各役割の共通認識等を図るのに時間を要した。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	<p>「子どもの読書推進事業」を開始し、ブックスタート対象の0歳児に始まり学校図書室支援による児童生徒までの、子どもの読書環境の整備に包括的に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタート</li> <li>・ブックスタートボランティア講座(年3回予定)</li> <li>・ブックスタートフォローアップボランティア講座(年2回予定)</li> <li>・「あかちゃんと絵本のへや」(月1回)</li> <li>・学校図書室支援事業(H18年度は花川南小学校をモデル校指定)</li> <li>・学校図書室ボランティア研修会(年2回予定)</li> <li>・学級団体貸出(参加校16校)</li> <li>・市内文庫への団体貸出</li> <li>・本館おはなし会(毎月第1・3・5土曜/第2・4日曜、その他不定期で開催)</li> <li>・花川南分館おはなし会(毎月第2土曜)</li> <li>・八幡分館(毎月第4土曜)</li> <li>・学校等でのおはなし会(不定期)</li> <li>・図書館まつり(11月3・4・5日開催)</li> </ul>		
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石狩地区のブックスタートボランティアは現在10名の登録しかいないため、継続的に事業を行なうための絶対数の確保を行なう。</li> <li>・市民ボランティアの参加がある事業については、研修等を行なう中でボランティアの自主性を尊重し、より自発的な活動を促進していく。</li> </ul>		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	スポーツ・青少年課、社会教育課	全部会
事業名	スポーツ、芸術文化活動の指導者の養成、普及		
計画体系	2 - (1) - スポーツ・芸術文化活動の支援		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもが生涯にわたって積極的にスポーツ・芸術文化に親しむことができるよう環境整備します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	スポーツ・青少年課 ・スポーツ指導者を目指す者に対して補助金を交付 ・スポーツ活動の普及の一環としてカローリング教室を開催 社会教育課 ・プログラムバンク事業において芸術文化プログラムの紹介を行った。		
カローリング	室内で行うカローリング。ストーンの裏にジェットローラがついており、体育館などの床で競技を行う。		
プログラムバンク事業	講師となって教えることのできる人にその「プログラム」を登録してもらい、それを周知して、学びたい人に利用してもらうことで、石狩市の人材を生かした双方向の生涯学習を充実させようという事業		
かかった経費は？(又は人材は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	スポーツ・青少年課 ・カローリング教室講師謝礼 36千円 社会教育課 ・プログラム利用の実態調査のみで、経費はかかっていない。		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	スポーツ・青少年課 カローリングというスポーツの普及を始めて日が浅く、参加料が無料にも関わらず参加者が集まらないため、教室開催の早い時期のPRが必要である。また、カローリングセットの数が少ないため多くの参加者を受け入れることができないが、1セットの金額も高額であり、簡単に購入することができない。 社会教育課 直接講師に連絡をとって利用してもらっていたため、利用実態の把握ができていなかったこと、毎年を更新をしてこなかったため、できなくなっていたプログラムもあった。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	スポーツ・青少年課 体育スポーツ活動の要求に対応できる指導者の確保と資質の向上を図るため養成セミナーに参加する。カローリング教室は、9月より年5回開催する。 社会教育課 プログラムの更新、充実		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	スポーツ・青少年課 カローリングについてはセットを増やし、市民への貸し出しや教室、大会などを行い、普及に努める。 社会教育課 これまでは紙媒体のみの周知であったが、HPにも掲載するなどより広く周知し、事業の充実を図りたい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	スポーツ・青少年課、社会教育課	全部会
<b>事業名</b>	スポーツ、芸術文化の観戦、鑑賞機会の充実		
<b>計画体系</b>	2-(1)- スポーツ・芸術文化活動の支援		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもの意欲や能力・豊かな感受性を育むため、スポーツや芸術文化等の観戦・鑑賞の機会を充実します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	スポーツ・青少年課 本市出身選手のトリノオリンピックテレビ観戦、応援を勧める活動を行ったり、サテライト石狩での本市出身選手の大会出場時におけるトリノオリンピックの観戦会を支援した。 社会教育課 文化関係団体等で構成するいしかり芸術座運営委員会に委託する等して、kitaraファーストコンサートへの参加補助、トークコンサート、学校出前ミニコンサート、人形浄瑠璃あしり座公演といった「芸術鑑賞会事業」を実施した。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	スポーツ・青少年課 ・応援懸垂幕 105千円 社会教育課 ・1,306千円(いしかり芸術座運営委員会への委託料 1,181千円、謝礼金 125千円)		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	スポーツ・青少年課 見る者に感動を与える機会の提供が少なかった。 社会教育課 一部を芸術座運営委員会に委託したが、初年度ということもあり、委員会の自主性や特性をうまく引き出せなかった。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	スポーツ・青少年課 ソフトボールの全国大会を誘致するための準備を行っている。 社会教育課 kitaraファーストコンサートへの参加補助、二胡コンサート、ペルーのパントマイム「ショートストーリーズ」、俳句事業、学校出前ミニコンサート		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	スポーツ・青少年課 スポーツ広場の改修を行い、ソフトボールの全国レベル大会等を誘致する。 社会教育課 H19年度まではこの形を継続するが、予算等の面から、H20年度以降は俳句事業を中心とした事業展開に切り替える予定。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	子育て支援課	学童、思春期
<b>事業名</b>	育成協議会等の育成		
<b>計画体系</b>	2-(1)- 子どもの健やかな育成の推進		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもに安心した地域・学校環境づくりや地域の教育力の活性化に向け、青少年健全育成活動を充実します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	地区別の青少年健全育成協議会へ交付金支出 ・各地区の子どもの安全・非行防止・声かけ運動等 ・いしかりヤングフォーラム(4地区合同) ・石中校区(外部講師による講演会、独居老人宅の除雪への支援) ・花川南地区(サマーフェスティバルの開催、少年少女意見発表会) ・北中校区(紅南ふれあい広場、紅葉山子育て21) ・花中校区(リングブル収集による自走式車椅子の寄贈、生活標語コンクール) 石狩市子ども会育成連絡協議会へ交付金支出 ・各単位子ども会の活動支援、リーダー研修等 ・ふるさと新発見バスツアー ・ふるさと探検隊スリーラインキャンプ		
青少年育成協議会 【育成協】	市内中学校を中心に小学校、地域及び家庭が連携した活動を行う協議会。祭典等の巡視やあいさつ運動の他、各育成協独自の取り組みを行っている。H18年度より、厚田区、浜益区育成協も加わり、現在市内に6つの育成協が存在する。		
市子ども会育成連絡協議会 【市子連】	市内の単位子ども会(町内会の子ども会)指導者間の連絡及び指導者の研修や各種子ども向け事業を行う協議会。(H17年度 構成単位子ども会39団体 3,318人)		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	青少年育成協議会【交付金 47万円】 市子ども会育成連絡協議会【交付金 83万円】		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	都市化や核家族化等の進展により、地区ごとにおける子どもの居住先が設立当初から大きく変わってきていることから支援体制について再考せざるをえない状況にある。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	青少年育成協議会【交付金 65万5千円】 市子ども会育成連絡協議会【交付金 81万円】		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	子どもたちが主体的に地域や社会のために活動する機会を今以上に活性化していくために、十分な議論を重ねながら、協議会や各団体の連携による全市的かつ有効的な支援体制の構築を目指す。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度(新規)	子育て支援課	全部会
事業名	幼稚園、保育所、児童館等と小学校・中学校との接続のあり方		
計画体系	2-(2)- 子どもの成長に沿った連携の研究		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもの成長段階に沿って円滑に移行できるよう研究します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	子どもに関する各関係機関・団体との情報交換、連携及び協力の場として「いしかり子ども総合支援会議」の設置に向けて準備を行った。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 直接経費は特にかかったものは無し。 【人力】 会議の企画・要綱等整備：職員2名で実質半月程度		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	いしかり子ども総合支援会議の議論も必要であるが、教育委員会が取り込む連携教育会議と整合・調整を行う必要がある。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	いしかり子ども総合支援会議を4月に発足。教育委員会の呼びかけで5月に「石狩市連携教育推進会議」が発足。連携のあり方について検討を進める。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	当面は普段交流のなかった教育機関の相互交流を図ることとし、その課程の中で、市の実状にあった効果的な連携システムを目指す。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども発達支援センター	全部会
事業名	医療、福祉、教育、保健、地域との連携体制の充実		
計画体系	2-(3)- 個々のニーズに応じた支援体制の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	障がいの原因となる疾病や事故等の予防及び早期発見・治療等をはじめ、各分野の円滑な連携による療育を支援します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	発達相談や療育が必要な子ども等を支援するため、地域療育推進協議会(保健、福祉、教育、専門家等によって構成)や専門部会などを開催し、医療・保健・福祉・教育との連携体制の充実に努めた。また、こども発達支援センターをはじめ保育や教育関係者と随時連携し支援に努めた。		
地域療育推進協議会	障がい児の早期発見、早期療育の一貫した療育体制を整備し、関係者間の密接な連携により、総合的かつ効果的に療育等を推進するために設置		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	関係機関の協力を得て開催しているため、報酬等はない(ただし、江別保健所の管轄が石狩支所から江別本所に変ったことで費用弁償1,660円を支出)。開催にはスタッフ全員(6名)で対応		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	就学前・就学後から社会人に至るまでの療育に関する一貫した支援体制が不足している。また、関係者に共通する療育に関する専門知識の習得も必要		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	発達支援に係る法制度の改正やH19年度からの特別支援教育施行に併せて協議会体制を見直す。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	改編した地域療育推進協議会を中心に、教育など関係機関との連携により一貫した療育体制を構築し、地域に根ざした子どもの発達支援と保護者相談支援を図る。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	福祉生活課	乳幼児、学童
事業名	児童デイサービス事業		
計画体系	2 - (3) - 個々のニーズに応じた支援体制の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	障がい児の集団生活への適応訓練や保護者の日常生活における基本的指導等を支援します		
児童デイサービス事業	支援費制度上の未就学児から就学児(12歳未満)までの障がいや発達遅れのある児童に対する個別や集団的適応訓練や放課後活動支援		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	市直営の「こども発達支援センター」と民間事業書「ニコリ」の市内2事業者において児童デイサービス事業を実施することにより、障がい児の集団生活への適応訓練や保護者の日常生活における基本的指導等を支援した(両センター利用児童総数 102人)。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	支援費制度上のサービスであることから特化した事業としての判断不能		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	中高生の受入が不可能であった		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	支援費制度から平成18年4月施行の障害者自立支援法に基づくサービス体系に移行することによる療育中心への事業内容の見直しに基づく、子どもの発達段階に適合した療育と小・中・高生の放課後活動支援を目指したサービス体系の見直し		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	早期療育や個別療育の重点など一貫した療育実践の場としての要素と放課後活動の場の確保など多様なニーズに応えるシステムの構築		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども発達支援センター	全部会
事業名	地域と連携した社会参加を促進する取り組み		
計画体系	2 - (3) - 個々のニーズに応じた支援体制の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	障がい・発達に配慮を必要とする子どもが地域で安心して生活できるよう地域の理解・協力のもと交流等を通じた活動の機会を創出します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	発達障害に係る講演会や学習会を開催することにより、発達障がいに対する知識や理解を深め、配慮を必要とする子どもの地域と連携した社会参加の促進に努めた。療育・学校教育・こども相談センター等関係所管と発達障がいに係る講演を3回共同開催。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	一般市民や子どもに関わる専門家への啓発など研修内容別に3回実施(第1回129名、第2回145名、第3回88名)し、合計経費は110千円(教育委員会との共同経費)。開催にはスタッフ全員(6名)で対応		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	発達障がいに対する認識の向上に繋がり、毎回好評を得、継続要望が強く期待されているが、個々のニーズに応じた療育にはさらなる内容のレベルアップが必要。また、地域での交流などを通じた子どもたちの活動の場の創出を促進する必要がある。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	継続的な講演会や学習会などの研修を通して、発達障がいへの理解の促進と制度の啓発を図るとともに収集した新しい情報や技術を周知していく。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	スタッフ個々だけではなく機関としてのレベルアップにより、発達の視点による子どもの成長や保護者の育児支援として取り組む。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	学校教育課	学童、思春期
事業名	特別支援教育の推進		
計画体系	2 - (3) - 個々のニーズに応じた支援体制の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	児童生徒の個々の教育的ニーズを支援するため、学校内の体制整備や指導方法等に関する実践研究に努めるなど、特別支援教育への円滑な導入に向けた取組みと実践に努めます。		
特別支援教育	学習面、生活面などで困り感をもつ児童生徒(学習障がいなど)の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、困り感を改善又は克服するために必要な支援を行うもので、H19年度から実施される。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	児童生徒の個々の教育的ニーズを支援するため、各学校に校内委員会やコーディネーターを配置し、特別支援教育の体制整備を行った。また、こども発達支援センターと連携し、特別支援教育の推進に関する研修会・講演会や出前講座などを実施した。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	研修会・講演会謝金(3回):110千円、 TA(ティーチング・アシスタント)4名報酬:7,200千円 教育相談支援チーム謝金:40千円		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	学校においては、実施に向けての体制の整備が図られているが、教員の理解度に温度差がある。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	より教育現場で役立つ内容の研修などを実施する。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	学校生活において、学習面、生活面などで困り感をもつ児童生徒に適切な教育的な支援ができるよう支援体制を充実していく。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課	全部会
事業名	妊婦に対する相談支援の充実		
計画体系	3 - (1) - 妊産婦への健康支援		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	妊婦届出時の相談体制を強化します。また、若年や高齢、疾病を有するなど妊娠出産に困難をきたしやすい妊婦に訪問や電話相談などによる個別支援を充実します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	若年、高齢初産などの妊婦に対して電話や訪問による相談支援を実施することにより、妊娠出産に困難をきたしやすい妊婦に対する個別支援の充実を図った。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	妊娠届出事務および相談対応は、1日平均2件程度。		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	窓口での相談は、プライバシーが確保されないため、相談しやすい環境作りが必要。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	できるだけ、心配なことや気になること等を聞くように心掛けているが、環境としては改善されていない。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	アンケート用紙など、紙面を用いて、相談や悩みなどを把握する方法を検討する。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課	全部会
事業名	マタニティコースの充実		
計画体系	3 - (1) - 妊産婦への健康支援		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	妊婦の不安の解消や孤立化を防ぐため、交流を主体としたマタニティコースを実施します。		
マタニティコース	妊婦とその夫または家族を対象に、健康教室を実施。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	マタニティコース実施の際に、経産婦も参加できるよう、託児について配慮した。また、マタニティコースの中に調理実習を取り入れ、栄養指導の充実を図ることにより、マタニティコースの充実に努めた。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 臨時栄養士賃金48,800円、調理実習材料費等20,000円 【人工】 職員2人×3日×4クール		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	参加者が減少傾向。託児体制強化、実施内容の見直しが必要。乳児健診において、親の食生活の乱れ、ベビーフードが離乳食の主体であるケースが目立ち、より早期からの食生活指導の必要性が高まっている。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	保育士の予算を確保し、託児を積極的に受け入れる。調理実習材料費徴収。食生活指導を重視した内容にプログラムを変更。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	経産婦の参加を促す。食育を含め、具体的な食生活指導をさらに充実させる。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課	全部会
事業名	産後の母親の精神的負担の軽減		
計画体系	3 - (1) - 妊産婦への健康支援		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	産婦人科との情報交換・新生児訪問・4カ月児健診時に母親の精神状況を確認し、産後うつ等に対し支援します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	新生児訪問や4カ月健診時に母親の心身状況を確認し、必要に応じて家庭環境の調整や子育て支援の制度の紹介を実施することにより、産後の母親の精神的負担の軽減に努めた。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【人工】 新生児訪問(産婦訪問) 208件実施。4カ月健診438名受診。		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	新生児訪問における、産後うつスクリーニングツール導入については、フォロー体制整備に課題があり、導入できなかった。新生児訪問の対象は、第1子など、全出生数の半分程度としており、全数把握はなされていない。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	4カ月健診時の子育てアンケートを継続実施するとともに、その活用を徹底する。新生児訪問票(産婦訪問票)の変更。産後うつスクリーニング項目を記載し、できる範囲で聞き取りを行うこととした。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	新生児訪問全数実施に向けて検討する。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課	全部会
事業名	妊婦健康診査要指導者等への支援		
計画体系	3 - (1) - 妊産婦への健康支援		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	産婦人科との連携による早期対応に努めます。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	妊婦のうちB型肝炎ウイルス陽性者に対する保健指導を医療機関に委託して実施することにより、医療機関との連携による妊産婦への健康支援に努めた。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	保健指導料委託費 1,750円(要指導該当者1名) 他、検査料290円×391件分(一般財源)		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	「お金がない」という理由による、出産直前、直後の妊娠届出が年間数件あり、必要な検査を受けていない方がいる。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	妊婦健診と検査料の経費補助により、安全な出産を支援する。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	継続実施。経費削減対象とならないようにしたい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課、子育て支援課	乳幼児
事業名	育児相談機関や子育て支援サービスの周知		
計画体系	3 - (2) - 育児相談・指導の充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	母子保健情報の内容充実や母子手帳発行及び健診時にリーフレット等を活用し普及・啓発に努めます。また、転入者には母子保健情報や子育てガイドブック等を配布し周知します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	<p>健康づくり課 母子手帳発行、新生児訪問、各乳幼児健診など、さまざまな保健事業を通じて説明したり、リーフレット配布を行い、各種相談窓口や子育て支援サービスの周知を行った(夜間救急相談窓口、母乳マッサージ、託児サービス、地域子育て支援センター、児童館事業など)。</p> <p>子育て支援課 子育て支援サービスの周知を図るため、子育て支援関係機関・団体が参加するいしかり子育てネット会議において子育てガイドブックの改訂内容の検討を行った。</p>		
いしかり子育てネット会議	子育てに係わる行政機関やNPO法人さらには育児サークルなど子育て支援団体が一同に会する会議で、H17年5月に発足。関係団体間の情報の共有や連携、さらには情報発信の一元化などを目的とする。H17年度は3回開催。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>健康づくり課 情報収集と資料作成事務、月1日程度。</p> <p>子育て支援課 【経費】 特にかかった経費等はなし。 【人力】 会議の企画・要綱等整備・職員1名で実質1月程度</p>		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	<p>健康づくり課 様々な機会を利用して、周知を重ねているつもりであるが、依然として「知らなかった。」という声があることを認識しておく必要がある。</p> <p>子育て支援課 H17年度は構成団体間の活動の掌握や今後のネット会議のあり方などを話しあった。子育てガイドブック以外に最新情報を発信する手立てが必要と考える。</p>		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	<p>健康づくり課 母子保健情報の内容充実。各種情報の更新作業と、効果的な周知の検討。</p> <p>子育て支援課 市の「子育てガイドブック」の編集などを通じ、この会議で監修のうえ発行する予定。また、リアルタイムの情報発信として「いしかり子育てネットマガジン」を毎月発行(あい・ボードに配備)。このほか、市制10周年事業として、例年行われていた「こどもまつり」の主催(実行委)を同会議の構成団体がこぞって参画し、拡大して実施(10月下旬:北コミセンを予定)。</p>		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	<p>健康づくり課 関係機関との情報交換や、市民、利用者の声を取り入れ、必要ときに必要な情報が得られるようにする。</p> <p>子育て支援課 各団体間の連携をさらに深め、石狩市の子育て支援が官民の有機的な連携のもと効果的に図れるようにしたい。</p>		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課、公民館	乳幼児																														
事業名	保健相談 育児教室の充実																																
計画体系	3 - (2) - 育児相談・指導の充実																																
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	乳幼児健康相談や電話・訪問による育児相談を推進します。また、子育て教室の対象拡大や内容の充実に努めます。																																
子育て教室	生後5～7カ月の児と保護者を対象に実施。親子遊びや社会資源の紹介で2回、離乳食教室1回の3回1コースで実施している(本庁)。1歳～就学前児を対象に親子遊びや昼食会など年11回実施。(浜益区)																																
H17年度の取り組み 【具体的内容】	<p>健康づくり課 新生児や乳幼児に対する訪問指導。月1回の乳幼児健康相談。電話や来所による相談の受付(随時)、健診の結果事後指導が必要な対象には、保健師から電話や訪問による相談指導を行なっている。</p> <p>公民館 2歳児と3歳児の親を対象に、親子遊び・リラックスヨガ・子どもの心としつけのお話等を行う「びよびよ広場」を実施することにより、育児教室の充実に努めた。</p>																																
びよびよ広場	<p>子育てに関する知識や技術等の向上に努め、参加者相互や子育てを支援する人々との交流を深めることにより家庭の教育力の向上を図るための事業 びよびよ広場(H17年度事業内容)</p> <table border="0"> <tr> <td>・開講式、親子あそび</td> <td>5月24日</td> <td>14組25名</td> </tr> <tr> <td>・おすすめ絵本と手遊び</td> <td>5月31日</td> <td>10組22名</td> </tr> <tr> <td>・絵本づくり</td> <td>6月7日</td> <td>12組25名</td> </tr> <tr> <td>・講義「親たちの生き方と子育て」</td> <td>6月14日</td> <td>14組29名</td> </tr> <tr> <td>・講義「子どものこころとしつけ」</td> <td>6月21日</td> <td>11組23名</td> </tr> <tr> <td>・リラックスヨガと子育ての話</td> <td>6月28日</td> <td>13組27名</td> </tr> <tr> <td>・調理実習</td> <td>7月5日</td> <td>13組27名</td> </tr> <tr> <td>・親子体操とふれあいあそび</td> <td>7月12日</td> <td>12組24名</td> </tr> <tr> <td>・バス遠足</td> <td>7月14日</td> <td>11組22名</td> </tr> <tr> <td>・閉講式、振り返り</td> <td>7月19日</td> <td>12組25名</td> </tr> </table>			・開講式、親子あそび	5月24日	14組25名	・おすすめ絵本と手遊び	5月31日	10組22名	・絵本づくり	6月7日	12組25名	・講義「親たちの生き方と子育て」	6月14日	14組29名	・講義「子どものこころとしつけ」	6月21日	11組23名	・リラックスヨガと子育ての話	6月28日	13組27名	・調理実習	7月5日	13組27名	・親子体操とふれあいあそび	7月12日	12組24名	・バス遠足	7月14日	11組22名	・閉講式、振り返り	7月19日	12組25名
・開講式、親子あそび	5月24日	14組25名																															
・おすすめ絵本と手遊び	5月31日	10組22名																															
・絵本づくり	6月7日	12組25名																															
・講義「親たちの生き方と子育て」	6月14日	14組29名																															
・講義「子どものこころとしつけ」	6月21日	11組23名																															
・リラックスヨガと子育ての話	6月28日	13組27名																															
・調理実習	7月5日	13組27名																															
・親子体操とふれあいあそび	7月12日	12組24名																															
・バス遠足	7月14日	11組22名																															
・閉講式、振り返り	7月19日	12組25名																															
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>健康づくり課 【経費】 25千円(臨時栄養士賃金、消耗品費) 【人力】 保健師 73日稼働(訪問指導25 乳幼児健康相談8 相談15 子育て教室25 )</p> <p>公民館 びよびよ広場 【経費】 125,260円 【人力】 毎回準備に職員1人1日、当日は職員2人1日</p>																																
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	<p>健康づくり課 子育て広場・離乳食教室は、1コース20組としているが申し込みが多いときは30組以上の参加があった。多すぎるとスタッフの目が行き届かず、一組一組に丁寧に関わることが出来なかった。また、本当に参加して欲しい親子は参加に結びついていない現状がある。</p> <p>公民館 ・講義等を通して子育ての知識は得られたが、母親同士がかかわる機会が少なかったため、「仲間づくり」が課題となった。 ・3歳児の就園が増加しているため、2～3歳児をもつ保護者への支援だけでなく、対象年齢を検討する必要があるが出てきた。</p>																																
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	<p>健康づくり課 年間4コースの開催を5コースに増回。その他、10代の親子を対象にしたヤングママの子育て交流会を企画した。</p> <p>公民館 びよびよ広場(対象を拡大=1歳半～3歳児をもつ保護者)</p> <table border="0"> <tr> <td>・開講式、親子あそび</td> <td>5月25日</td> </tr> <tr> <td>・おすすめ絵本と手遊び</td> <td>6月1日</td> </tr> <tr> <td>・ハンドパネルシアターをつくろう</td> <td>6月8日</td> </tr> <tr> <td>・講義「親たちの生き方と子育て」</td> <td>6月15日</td> </tr> <tr> <td>・親子体操とふれあい遊び</td> <td>6月22日</td> </tr> <tr> <td>・バス遠足</td> <td>6月29日</td> </tr> <tr> <td>・リラックスヨガと子育ての話</td> <td>7月6日</td> </tr> <tr> <td>・調理実習</td> <td>7月13日</td> </tr> <tr> <td>・講義「子どものこころとしつけ」</td> <td>7月20日</td> </tr> <tr> <td>・閉講式、振り返り</td> <td>7月27日</td> </tr> </table>			・開講式、親子あそび	5月25日	・おすすめ絵本と手遊び	6月1日	・ハンドパネルシアターをつくろう	6月8日	・講義「親たちの生き方と子育て」	6月15日	・親子体操とふれあい遊び	6月22日	・バス遠足	6月29日	・リラックスヨガと子育ての話	7月6日	・調理実習	7月13日	・講義「子どものこころとしつけ」	7月20日	・閉講式、振り返り	7月27日										
・開講式、親子あそび	5月25日																																
・おすすめ絵本と手遊び	6月1日																																
・ハンドパネルシアターをつくろう	6月8日																																
・講義「親たちの生き方と子育て」	6月15日																																
・親子体操とふれあい遊び	6月22日																																
・バス遠足	6月29日																																
・リラックスヨガと子育ての話	7月6日																																
・調理実習	7月13日																																
・講義「子どものこころとしつけ」	7月20日																																
・閉講式、振り返り	7月27日																																
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	<p>健康づくり課 出生状況を見ながら回数を設定し、多くの親子が楽しく参加できるよう配慮していく。また、保育士からの遊びの提供も組み込んでいきたい。</p> <p>公民館 子育て支援や家庭教育の重要性が強く指摘される中において、今後も必要とされる課題の把握に努めながら実施するとともに、参加者同士の交流が一層図られるよう進め方を工夫する。</p>																																

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	健康づくり課	乳幼児
事業名	乳幼児健診体制の充実		
計画体系	3 - (2) - 育児相談・指導の充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	乳幼児健診の体制・内容を見直し、混雑の解消や相談しやすい体制を整備します。また、育児不安のある保護者には訪問等の事後支援を行います。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	乳幼児健診(4カ月・10カ月健診)の実施回数を年18回から各健診月1回の年24回に増やして実施し、乳幼児健診体制の充実に努めた。1歳半健診、3歳児健診は従来と同様に月1回実施した。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	医師・看護師・歯科衛生士報酬 約270万円		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	受診数は微増傾向が続いており、健診の混雑は解消されがたい状況にある。事後支援対象者の増加により、マンパワーの不足が生じてきている。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	10カ月健診において、ブックスタート(図書館事業)を導入。他は前年同様の体制で実施。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	混雑や長すぎる待ち時間の解消を図り、保健指導に時間を費やせるようにする。事後支援の徹底に努める。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども相談センター、健康づくり課	全部会
事業名	虐待の早期発見、予防		
計画体系	3 - (2) - 育児相談・指導の充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	虐待予防ケアマネジメントシステム事業を展開し児童虐待の発生予防に努めます。		
虐待予防ケアマネジメント事業	4カ月健診において、「子育てアンケート」として、虐待要因を点数化し、スクリーニングを実施。ハイリスクケースについては、事後指導等を実施する。また、処遇困難ケースに対する検討会を実施する。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	こども相談センター 虐待の早期発見・予防の普及・啓発を図るため、石狩市児童虐待防止対策マニュアルを作成し、学校、幼稚園、保育所、民生委員等へ配布したほか、児童館や民生委員を対象に虐待に関する出前講座を実施した。 健康づくり課 虐待予防ケアマネジメントシステム事業を実施し、4カ月健診時に虐待早期発見スクリーニングを行い、育児支援が必要な家庭に虐待予防に関する事後支援を行った。さらに、虐待の未然防止の取組として、子育て支援の視点からの講演会の実施やパンフレット等の配布を行ったり、虐待予防の一環として地域子育て交流会をH17年度に樽川の2地区で実施した。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	こども相談センター 【人力】 マニュアル作成に職員1名で約1.5ヶ月程度 健康づくり課 【人力】 保健師 40日分		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	こども相談センター 虐待ネットワークを効果的に機能させるためには、顔の見える関係作りが必要であると考え。 健康づくり課 子育てアンケートの名称で、スクリーニングを実施しているので、育児面の内容が詳しく聞き取りできた。6点以上のハイリスク者が33.8%。精度の向上、見直しが必要。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	こども相談センター 実務者レベルでの研修会の開催のほか、出前講座、母親の育児ストレスを解消するための心理的プログラムの実施 健康づくり課 昨年度までは、保健所の事業として実施していたが、今年度も、引き続き、市の事業として継続実施する。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	こども相談センター 虐待マニュアルも含め、出前講座や研修会を開催して各機関への周知を図る。 健康づくり課 スクリーニング精度の管理と、追跡調査。事後指導の徹底。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課	乳幼児
事業名	乳幼児健診未受診者への対応		
計画体系	3 - (3) - 健康診査及び事後支援体制の充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	乳幼児健診の未受診者に電話・手紙・訪問などで健康状態の確認を行い健診の普及・啓発に努めます。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	乳幼児健診未受診者には再度健診通知をし、なお未受診者については訪問や電話で状況を確認することにより、乳幼児健診の普及・啓発に努めた。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【人力】通知等の事務処理に、月2日程度。他、随時の保健指導業務。		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	未受診者の家庭には、養育や発達の問題を抱えている割合が比較的高い可能性があるが、概して保護者との連絡が取れないことが多く、状況把握が困難である。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	システム活用、名簿管理の徹底による管理体制の強化。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	受診率向上に努める。未受診者管理方法の見直し。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課	乳幼児
事業名	発達に不安がある乳幼児への支援		
計画体系	3 - (3) - 健康診査及び事後支援体制の充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	専門相談員による発達相談を行い、きめ細やかな相談を行っていきます。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	1歳6カ月児、3歳児健診事業時における発達相談、発達相談員による専門相談、保健師による電話相談・訪問指導を行い、発達に不安がある乳幼児への支援に努めた。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	1歳6カ月児、3歳児健診時各12回、発達相談12回 賃金8,300円×36回 = 298,800円		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	要経過観察児が増えてきており相談日程が足りず増回したり、健診時にあわせて相談時間を設けた。一方、保護者の受け入れが悪く相談につながっていないケースもある。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	H17年度と同様		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	最近では広報を見て直接保護者が申し込んできたり、主治医が申し込んでくれる場合もあり日程が足りなくなっている状況である。今後も相談ケースの減少は考え難いため日程の増回を検討していく。また、ワーキングマザーは平日の相談は困難であることが多いため、その対応についても検討していく。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課	乳幼児
事業名	歯科相談、検診の充実		
計画体系	3 - (3) - 歯科保健の推進		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	歯科相談指導の充実や歯科検診の意向調査等を実施し、必要な見直しを検討します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	H16年度から年12回の歯科検診を24回に増やし、歯科検診の充実に努めた。また、歯科検診の受診率向上のため、2歳児に個別に検診について通知をした。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師報酬 1,152,000円</li> <li>・臨時歯科衛生士賃金 292,800円</li> <li>・消耗品、医薬材料費他</li> </ul>		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	個別通知により、2歳児の受診者は1.5倍増となった。歯科保健に関する意識の二分化傾向が見られる。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	乳歯の萌出時期である10カ月健診において、第1子は、基本的に歯科相談を受診するよう配慮。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	様々な機会を利用して、啓蒙、普及を図る。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課	乳幼児
事業名	事故防止の普及啓発及び指導		
計画体系	3 - (3) - 事故防止対策		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	新生児訪問指導でSIDS(乳児突然死症候群)予防を含めた事故防止の指導を行います。さらに、乳幼児健診時においても啓発に努めます。		
新生児訪問指導	生後28日までを新生児期という。第1子と低出生体重児(出生時体重2,500g未満)、その他必要と認められた児に対する訪問指導を実施している。		
SIDS(乳児突然死症候群)	元気で何の異常もなく育っていた赤ちゃんが、ある日突然睡眠中に呼吸が止まって死亡する病気。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	新生児訪問や4カ月健診において、リーフレットを配布した。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	無料リーフレット使用		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特になし。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	前年同様		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	様々な機会を利用して、啓蒙、普及を図る。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課	全部会
事業名	食生活に関する正しい知識の普及、啓発		
計画体系	3 - (4) - 適切な食生活・食習慣の形成		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	妊産婦をはじめ、子どもの成長段階に応じた食に関する正しい知識と望ましい食習慣の学習機会や情報提供を保健・福祉・教育分野などが連携し、子どもや家庭の心身の健康増進に努めます。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	妊婦に対してはマタニティコースに調理実習を取り入れて実施し、個別の栄養診断も行った。乳児に対しては子育て広場(育児教室)や離乳食教室で啓発を行なった。浜益支所では、保育園児を対象に親子料理教室(ピヨちゃんレストラン)を実施。また、食育に関する連携を図るため、庁内連絡会議を開催した(1回)。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マタニティコース3日間1コースの内の1日が栄養指導の内容。年4コース。栄養士12人日。保健師4人日。経費 - 栄養士賃金 49千円 消耗品費15千円</li> <li>・離乳食教室、年4日間実施。栄養士 12人日。経費 - 栄養士賃金24千円 消耗品費26千円</li> <li>・子育て広場 - 2日間1コース。保健師4人日。経費 - なし</li> <li>・ピヨちゃんレストラン - 経費 消耗品費 20千円</li> <li>・食育推進庁内連絡会議。1回実施。経費 - なし。人力 - 12人日</li> </ul>		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代の親の欠食や野菜不足をはじめとする食事バランスの悪さ。調理技術を含めた具体的指導が必要。</li> <li>・食育に関する取り組みについて情報不足。各所管での課題と実施状況を把握し、連携して効果的・効率的な普及啓発を行う必要がある。</li> </ul>		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マタニティコースの食生活指導の部分を独立させてマタニティクッキングとした(2回1コース、年4コース実施)。経産婦も参加しやすいよう託児を設けた。</li> <li>・食育推進庁内連絡会議を年3回実施予定。連携事業の取り組みを行う。</li> </ul>		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	妊娠期・乳児期・幼児期・学童期・思春期の各世代毎取り組むべき重要課題を抽出し、庁内関係所管や関係機関が連携して事業を行う。取り組みの一環として、食事バランスガイドの普及啓発を行う。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課	乳幼児
事業名	健診での栄養指導の充実		
計画体系	3 - (4) - 適切な食生活・食習慣の形成		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	利用しやすいリーフレット(簡単レシピ集や清涼飲料水等)などを作成し、栄養指導等を充実します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	指導用リーフレットにおける栄養指導等に関して一部改定を行ない、栄養指導等の充実を図った。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	栄養士24人日		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	1歳半、3歳児健診の栄養指導利用率が低い。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	離乳食のレシピ集や幼児のおやつに関するリーフレットを新たに作成。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	1歳半、3歳児健診の栄養指導利用率を向上するため、集団指導の導入を検討する。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度(新規)	子育て支援課、学校教育課	全部会
事業名	食に関するプログラムの開発		
計画体系	3 - (4) - 適切な食生活・食習慣の形成		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	身近に学習できる食に関するプログラムを開発し、学校を始め地域での活用を勧めます。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	<p>子育て支援課 食に関して身近に学習できるプログラムとして、藤女子大学食物栄養学科実習生によるくろみ保育園での食育セミナー(ペープサート:紙人形劇)を実施した。また、適切な食生活・食習慣形成を図るための食育プログラムの開発の検討を行った。</p> <p>学校教育課 国の食育推進事業の指定を受け、学校での講演会、食育授業、菜園作りなどへの支援や啓発パンフレットを作成した。</p>		
食育プログラム	<p>普段の遊びの中で「おはしの持ち方」「3色食品群」などを習得するプログラム(手順)。食物栄養学科ゼミ生の研究テーマと保育所独自の食育メニューをタイアップさせ、協働によるプログラムを開発する。また、今後の食育推進のツールとして活用する。</p>		
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>子育て支援課 【経費】 直接経費は些少のため捕捉せず。</p> <p>学校教育課 【経費】 直接経費は些少のため捕捉せず。(なお、国の食育推進事業は100万円の補助金で実施)</p>		
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	<p>子育て支援課 毎年「こどもの食事アンケート」を保育所全園対象に実施しているが、その結果を活用できていない(主な問題点:子どもの好き嫌い、食事のマナーなど)。</p> <p>学校教育課 正しい食習慣の形成は簡単ではなく保育所、学校だけでは難しい</p>		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	<p>子育て支援課 大学と協働し、より効果的で実効性のある事業展開を展開 子どもの食育実態調査の企画・分析し、食育プログラムへ応用させる(調査) モデル園(くろみ保育園)で6回程度のプログラムを実施し、その効果を点検(実施) 試験プログラムを検証し、成果プログラムとして普及する(報告)</p> <p>学校教育課 継続実施</p>		
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	<p>子育て支援課 メニュー化された食育プログラム(おはしの紙芝居、3色食品群学習キットなど)を食育学習の教材として市内幼稚園・保育所に普及・啓発する。あわせて、学校を中心とした食育事業や農政分野とも連動させた事業展開を図る。</p> <p>学校教育課 食育の基本は家庭であり、保育所や幼稚園、関係機関と連携し、保護者に向けての対策を行う必要がある。</p>		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課	学童、思春期
事業名	性や性感染症予防等に関する正しい知識の普及		
計画体系	3 - (5) - 性に関する健全な意識の涵養		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	性の問題行動や性感染症の予防のため、性に関する正しい知識の普及・啓発活動を行います。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	性の問題や性感染症の予防のため、思春期保健対策委員会やワーキンググループにおいて思春期の課題抽出や今後のあり方を検討した。また、市の思春期の現状に関するリーフレットの作成やアンケート調査を実施し、性に関する正しい知識の普及・啓発に努めた。		
思春期保健対策委員会	江別保健所が石狩市における、次世代を担う思春期の子ども達が性と生に関わる正しい知識を身につけ健康な生き方ができるよう、関係者が連携して支援できる体制を整備することを目的に設置した委員会。福祉・教育に関わる委員で構成され、思春期に関わる研修等の推進に関わること、実態把握及び情報交換に関すること、石狩市思春期保健ネットワークの立ち上げに関することを協議した。(単年度事業)		
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	思春期保健対策委員会3回参加。ワーキング会議は5回参加。保健師が各中学校に出向きアンケートを実施。		
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	保健・学校・地域・家庭で思春期の問題に対して共通理解ができていない。また、今後の対策についての方向性が決まっていない。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	アンケート調査結果を各中学校に報告。11月のPTA連合研修会で保護者向けの性に関する講演会の開催予定。いしかり子ども総合支援会議の思春期部会で現状理解と対策についての話し合いをする。		
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	保健所・養護教諭・助産師など他職種と連携しリーフレットの作成や健康教育を実施していきたい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課、学校教育課	学童、思春期
事業名	薬物乱用、喫煙防止の普及、啓発		
計画体系	3 - (5) - 薬物等や喫煙防止の推進		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	心や身体を蝕む薬物乱用や喫煙を、地域・保健・家庭・学校が連携し、防止・啓発活動を進めます。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	学校教育課 保健での授業や薬物乱用防止教室の開催、学校内における禁煙の実施 健康づくり課 りんくるにおける薬物乱用及び喫煙防止を啓発する内容のポスターの掲示		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	学校教育課 【経費】 直接経費は些少のため捕捉せず。 健康づくり課 無料ポスターやパンフレットの配布		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	学校教育課 学校での取組みに差が見られる。 健康づくり課 ・H16年度に児童・生徒の喫煙防止研修会を実施したが、その後活動が継続できていない。 ・家庭での禁煙防止教育を考えたとき、親の喫煙が問題となる。特に女性の喫煙率が高い傾向にある。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	学校教育課 (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターキャラバンカーを利用した教室も実施する予定。 健康づくり課 イベント等の機会にポスターやリーフレットを用いて啓発する。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	学校教育課 授業をはじめ、警察による防止教室、H18年度から活用するキャラバンカーなどをより積極的に活用するなど取組みの充実を図っていく。 健康づくり課 妊婦や子どもを持つ親に喫煙の害に関する知識を深めてもらう。母親教室や乳幼児健診の場で普及・啓発を強化する。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度(新規)	用地・地域振興担当、区画整理担当	乳幼児
事業名	市街地開発事業等の子育て支援施設等整備の普及、啓発		
計画体系	4 - (1) - 住居環境の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	宅地開発や公共施設整備等での子育て支援施設が一体的に整備されるよう普及・啓発を行います。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	H17年度は、宅地開発や市街地開発事業がなかったため、該当なし。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	用地・地域振興担当 上記より該当なし。 区画整理担当 特になし。		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	用地・地域振興担当 上記より該当なし。 区画整理担当 特になし。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	用地・地域振興担当 なし。 区画整理担当 特になし。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	用地・地域振興担当 予定なし。 区画整理担当 特になし。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	みどりの課	乳幼児
事業名	公園、道路、公共施設の整備		
計画体系	4 - (2) - ユニバーサルデザインによる公的施設の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	高齢者・障がい児(者)等をはじめとする誰もが利用しやすい公園等のバリアフリー化を推進します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	石狩ふれあいの杜公園においてユニバーサルデザインのトイレ(オストメイト対応、ベビーチェア、ベビーシート、幼児用便座等)の設置、バリアフリー園路の整備を行い、公園のバリアフリー化を推進した。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】H17年度石狩ふれあいの杜公園全体事業費 108,000千円(国費54,000千円)、ユニバーサルデザインのトイレ整備費 22,500千円 【人工】約2人/年		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	一般的にユニバーサルデザインによる整備はコスト高となる。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	石狩ふれあいの杜公園は、H18年度も継続事業としてバリアフリー園路の整備、環境へ配慮したベンチの設置などを行う。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	街区公園のリニューアル事業において、「みんなが安全かつ快適に利用できる公園づくり」を目指す。またワークショップの手法により市民との協働による公園設計を行う。石狩ふれあいの杜公園については、H19年度で事業完了。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	商工労働観光課	乳幼児
事業名	事業者等に子ども連れ親等に配慮した施設整備の指導、啓発		
計画体系	4 - (2) - ユニバーサルデザインによる公的施設の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	公共施設や大型店舗等に子育て世帯が快適に利用できる育児スペースなどを設置するよう指導・啓発を行います。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	H17年度はまず事業所等への育児休業制度の周知・啓発を徹底したので、H18年度から取組を行う予定である。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	なし。		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特になし。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	石狩商工会議所無料職業紹介所を通じ、会員企業への意識啓発を行っている。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	労働実態調査を活用した事業所への意識啓発を行う。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	総合危機管理室	全部会
事業名	防災等の避難体制等の周知活動		
計画体系	4 - (2) - ユニバーサルデザインによる公的施設の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	緊急時に、すぐ対応できるよう避難場所や避難方法等の周知を徹底します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	備蓄資材の場所、使い方等について学校に説明し、生徒にも周知を行うよう依頼した。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	特になし。		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特になし。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	今年度も同じように期限切れ近くの備蓄品を学校に配布し、防災意識の高揚や防災知識の普及啓発に努める。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	これからは、備蓄品以外の防災知識として、避難場所や避難経路の確認・事前把握及び町内会等で実施している防災訓練への参加を呼びかけていく。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども相談センター、スポーツ・青少年課	学童、思春期
事業名	地域、関係機関、学校、警察等の連携強化 いじめや問題行動等のないまちづくり		
計画体系	4 - (3) - 子どもたちを見守る体制の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	家庭や地域住民・学校・関係機関・警察等とのネットワーク体制を強化し、子どもを犯罪・非行等から「守る」ために、地域社会全体で取り組みます。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	教育委員会所管のサポートチーム協議会や「ふらっとくらぶ」との情報共有を図り、地域、関係機関等とのネットワーク体制の強化に努めた。また、H16年度の児童福祉法の改正により設置可能とされた要保護児童対策地域協議会において、いじめ、不登校及び非行問題についても対応できるためのシステムの検討を行った。		
サポートチーム協議会	自立支援教室と同様にH16年度より文部科学省の委託事業をうけ、取り組みを開始した。いじめや暴力行為、非行といった問題行動を起こす生徒を対象として、学校の他、警察、児童相談所など関係機関が、問題解決に向け、どのような支援ができるかを協議し、その対象生徒を支援するサポートチームを編成し、具体的な支援を行っていくことを目的としている。		
ふらっとくらぶ	不登校児童生徒の集団生活への適応、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善のため、集団指導、個別指導により、社会的自立に資することを基本に、学校復帰を支援する。		
要保護児童対策地域協議会	H16年改正の児童福祉法により明記された、虐待、いじめ、不登校など、要保護児童等の適切な支援・保護を図るための地域関係機関により構成される協議会のこと。本市では名称を「こども見守りネットワーク協議会」とした。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	特になし。		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	教育委員会と連絡会議等で情報の共有化に努めるが、円滑な連携とまでは至っていない。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	実務者研修等を中心に、システムそのものの周知と、援助者同士顔の見える関係性を築いていく。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	システムが各関係機関に周知され、問題の早期発見と、ケース会議や実務者研修などを通して、速やかなネットワーク連携ができるようにしたい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	市民生活課	全部会
事業名	町内会等との連携による防犯活動		
計画体系	4 - (3) - 子どもたちを見守る体制の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	安全・安心なまちづくりのため、交番・駐在所と町内会などが連携し適切な情報提供や防犯ボランティア活動を支援します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	安全・安心なまちづくりのための防犯ボランティア活動の支援を目的として、生活安全推進協議会が防犯パトロール活動等を行う5町内会をモデル町内会に指定し、助成を行った。また、交番からの依頼を受け、関係地域の町内会に防犯に関する情報提供を行うことにより、交番・駐在所、町内会等との連携による防犯活動に努めた。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	交付金150千円(1町内会30千円×5町内会)を、各町内会の防犯に関する活動の助成として交付した。		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	現在、子どもを対象とした事犯が増加しており、学校・PTAと地区町内会の連携がスムーズでないと思われる。また、各地域でパトロール隊が結成され、頻繁にパトロールが行われるようになり、市内の犯罪件数の減少に貢献しているものと思われるが、今後においても、一時的な活動でなく、継続して活動が行われていくかが、重要であると思われる。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	交付金60千円(1町内会30千円×2町内会)を、各町内会の防犯に関する活動の助成として交付する。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	地域、各団体等の連携のあり方を検討		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	スポーツ・青少年課	全部会
事業名	「こども110番」いしかりサポート事業の充実		
計画体系	4 - (3) - 子どもたちを見守る体制の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもが被害に遭ったり遭いそうな時、一時的な保護と警察等への通報を行う「こども110番いしかりサポート」協力店舗・家庭の充実や子どもに位置等の周知活動を行い、地域で子どもを守る体制を整備します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	子どもが被害に遭ったり遭いそうな時に、一時的な保護と警察等への通報を行う「こども110番いしかりサポート」に関する記事を広報に掲載した。また、町内会及び学校を通じて「こども110番いしかりサポート」の設置協力の依頼を行い、地域で子どもを守る体制の整備を努めた。		
「こども110番いしかりサポート事業」	H11年に事故発生の未然防止、子どもたちの緊急避難場所及び警察等関係機関への早期通報を目的とし、市民に広く協力を求める。登録していただいた家庭には「こども110番いしかりサポート」と記載したステッカーを配布。玄関など見やすい位置に貼ってもらっている。H18年7月21日現在616件が登録している。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】ステッカー代 92,400円 【人工】町内会等へのPR、配付手続きなどで0.2人工		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	地域により協力が格差がある。地域と学校との連携をもっと図る。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	学校、町内会を通して広く協力を呼びかけている。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	市内全域に協力箇所を増やし、また、子どもたちにも広く周知する。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	スポーツ・青少年課	全部会
事業名	書店、コンビニエンスストア等への有害図書等の啓発		
計画体系	4 - (3) - 有害図書・情報の排除にむけた啓発		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	性や暴力等に関する過激な情報を内容とする雑誌やビデオ、インターネット等の有害サイトを関係機関・団体やPTA、ボランティア等と協力して、排除等の広報啓発活動を推進します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	有害図書・情報を排除するため、書店、コンビニエンスストア等に定期的に巡回及び立入調査を行った。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【人工】巡回・調査等 0.1人工		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	全道一斉強化期間における巡回調査のほか、随時巡回し、指導等を行う。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	引き続き巡回・立ち入り調査をすすめ、コンビニエンスストアや書店・レンタルビデオショップなどに排除等にむけ協力を呼びかける。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	スポーツ・青少年課	全部会
事業名	地域・関係機関・PTA等との連携による有害情報等の啓発		
計画体系	4 - (3) - 有害図書・情報の排除にむけた啓発		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	性や暴力等に関する過激な情報を内容とする雑誌やビデオ、インターネット等の有害サイトを関係機関・団体やPTA、ボランティア等と協力して、排除等の広報啓発活動を推進します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	関係機関、学校等で行われる会議における有害情報等に関する情報交換や有害情報等排除のための対応の依頼等、関係機関と協力して有害情報等の排除等に努めた。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【人工】会議資料の作成、会議の出席など 1人工で60日程度		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	強制して排除することができないため、協力をお願いするのみである。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	H17年度と同様。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	関係機関とより連携を密にし、地域、関係機関等一体となって立ち入り調査をし、排除をすすめていく。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども相談センター	全部会
事業名	児童家庭の相談、支援体制の充実		
計画体系	5 - (1) - こども相談センターの充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	深刻化する児童への虐待等やひとり親家庭に対する相談・支援体制を充実し、さらに関係機関と連携協力体制を築き、地域と一体となった予防をはじめ総合的な支援を行います。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	複雑かつ多様化する家庭問題等に対応するため、家庭児童相談員及び母子自立支援員の資質向上のため、児童相談所主催の研修会等への参加を行ったほか、必要に応じて臨床心理士によるスーパービジョンを行い、児童虐待やひとり親家庭に対する相談・支援体制の充実に努めた。		
家庭児童相談員	都道府県又は市町村が設置する福祉事務所に置かれた家庭児童相談室の非常勤職員で、家庭児童福祉に関する専門的技術を必要とする相談指導業務を行う。		
母子自立支援員	母子寡婦福祉法8条の規定により、都道府県、市及び福祉事務所の非常勤の職員として、主として福祉事務所におかれ、母子家庭及び寡婦の自立に必要な相談援助を行う。		
スーパービジョン	熟練ワーカーが未熟練ワーカーの職務遂行能力を向上させるために、管理的機能、教育的機能、支持的機能を果たして、助言指導や教育訓練を行い解決の方策を一緒に探索していく共同の努力過程のこと。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	家庭児童相談員報酬 月額150千円×12ヶ月×2人 = 3,600千円		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	問題が複雑・多様化してきているため、研修の充実やスーパービジョンを受けられる体制づくりが必要である。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	臨床心理士をこども相談センター長として配置することにより、相談スタッフがスーパービジョンを受けられる体制が整備された。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	相談員の研修の機会を増やして専門性の向上を図っていききたい。また、社会福祉士や精神保健福祉士など有資格者の登用を検討していききたい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども相談センター	全部会
事業名	児童虐待防止ネットワークづくり		
計画体系	5 - (1) - こども相談センターの充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	福祉、医療、保健、教育、警察等や地域と協力体制を強化し、虐待等の早期発見・予防や啓発活動を推進します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	H14年度から、行政、学校、幼稚園、保育所、民生委員、児童相談所、警察等の関係機関で構成する「石狩市虐待防止対策対連絡協議会」によるネットワークを設置し、個別のケース会議等により、要保護児童等への各支援機関の役割や処遇などについて検討や支援活動を行い、各関係機関の協力体制の強化に努めた。		
石狩市虐待防止対策対連絡協議会	H14年度に設置された、児童虐待の早期発見と適切な支援を検討するための協議会。学校、幼稚園、児童相談所、民生委員などの代表者により構成される。H17年度をもって「こども見守りネットワーク協議会」に移行したため発展的に廃止となった。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	特になし。		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	児童虐待の早期発見のため、以前よりは通告義務などが周知されてきてはいるが、まだまだ完全とは言えず、今後も周知徹底を図っていくことが求められる。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	こども見守りネットワーク協議会総会や、実務者研修のほか、パンフレットの配布などを通して周知徹底に努める。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	情報収集や会議の開催がスムーズになるように各機関との関係づくりを深めていききたい。また、「どこへ相談したらいいのかわからない」といったことがないように周知を図っていききたい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども相談センター	全部会
事業名	研修等の充実		
計画体系	5 - (1) - こども相談センターの充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	虐待等の背景は多岐にわたることから、関係職員や子どもに係る関係者に研修等を実施し、適切に対応していきます。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	日本こども虐待防止学会第11回学術集会、北海道家庭児童相談員研修会、中央児童相談所管内家庭児童相談員研修会、児童虐待防止シンポジウム、中央地区里親研修、江別保健所主催児童虐待対応者研修、全国母子自立支援員研修大会等の虐待等に関する研修等に関係職員が参加し、虐待等への適切な対応方法の取得に努めた。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	費用弁償 52,800円		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	各種資格取得(カウンセラー、児童福祉司など)の研修受講費等が予算化されていない。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	北海道家庭児童相談員研修、中央児童相談所管内家庭児童相談員研修、児童虐待防止シンポジウム、里親研修等へ参加し虐待等への適切な対応方法の取得に努めた。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	自治体をはじめ、民間や各種団体が主催する研修会に参加し、専門的スキルの向上を図っていきたい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども相談センター	全部会
事業名	ひとり親家庭等日常生活支援事業		
計画体系	5 - (2) - ひとり親家庭日常生活支援		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	ひとり親家庭の親等が疾病等の理由により、子育てが困難となった時に、家庭奉仕員(ヘルパー)等を派遣し一時的な家事援助や保育サービスを提供します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	NPO法人北海道子育て支援ワーカーズと奉仕派遣員の委託契約を締結し、一時的に育児困難な家庭にヘルパーの派遣を行い、母子家庭等の日常生活に対する支援を図った。また、ひとり親家庭への公的支援の通知文書と一緒に母子家庭等日常生活支援事業に関する案内パンフレットを配布したり、広報を通じて、母子家庭等日常生活支援事業の周知に努めた。		
母子家庭等日常生活支援事業	ひとり親家庭へヘルパーを派遣し、一時的な生活困難や育児を支援する。北海道から事務委託され、経費の3/4道補助金、1/4が市町村単費。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	H17年度予算額263千円(委託料 246千円、消耗品費 17千円) 決算額 31千円(うち補助 23千円)		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	一度利用すると、繰り返し利用するケースが多いことから、利用件数が少ないのは、制度そのものの周知が徹底されていないことが考えられる。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	ひとり親医療の現況通知の際や、母子面接の際に、制度のパンフレットを配布するなどして、周知徹底を図る。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	制度の周知を図り、利用件数を増やしていきたい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども相談センター	全部会
事業名	母子家庭への各種支援制度の周知		
計画体系	5 - (2) - ひとり親家庭日常生活支援		
事業概要 [次世代計画の掲載内容]	母子寡婦福祉資金や母子家庭自立支援給付金などの各種支援制度の活用等を周知し、社会的自立にむけ支援します。		
母子寡婦福祉資金	ひとり親家庭の経済支援対策として、資金の貸付を行う。申請や償還などの事務は北海道で実施することになっており、市町村では面接の際の制度の説明や書類の取りまとめを行う。		
母子家庭自立支援給付金	母子家庭の母の就労支援対策として、技能習得のため指定した講習を受講するための経費の40パーセントを補助する。		
H17年度の取り組み [具体的内容]	広報や個別相談の際に、母子家庭等日常生活支援事業や母子寡婦福祉資金の周知を図ることや、就労支援としてハローワークや資格取得のためのサービスと併せて一時保育など両立支援のため必要なサービスの情報提供を行うことにより、母子家庭の社会的自立に向けた支援に努めた。		
かかった経費は？(又は人力は？) [事業費内訳/事務ボリューム・人工]	母子自立支援員報酬 月額150千円×12ヶ月×2人 = 3,600千円		
課題はあったのか？ [所管課の課題認識]	特になし。		
今年度の取り組み内容 [H18年度の取り組み状況]	母子相談の際に、制度についての説明を行うほか、広報等でも周知。		
今後はどうしたい？ [これからの事業展開]	引き続き、制度の周知を図っていきたい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども家庭課	全部会
事業名	児童扶養手当、医療費助成事業		
計画体系	5 - (2) - ひとり親家庭等の経済的負担の軽減		
事業概要 [次世代計画の掲載内容]	ひとり親家庭等の児童に対し、児童扶養手当や医療費を助成します。		
H17年度の取り組み [具体的内容]	児童扶養手当の支給(受給者数 599人) ひとり親家庭等の児童に対する医療費の助成(受給者数 1,690人、件数 9,436件)		
児童扶養手当	<p>受給資格者</p> <p>18歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童を監護している母、または母にかわって児童を養育(児童と同居し、監護し、生計を同じくしていること)している人 手当の月額(所得制限あり)</p> <p>1人目全部支給で41,720円、一部支給で41,710円～9,850円 2人目で5,000円加算、3人目以降1人増すごとに3,000円加算する。</p>		
ひとり親家庭等医療費助成	<p>受給資格者</p> <p>ひとり親家庭や両親のいない家庭で扶養又は監護されている18歳までの子と親 ひとり親家庭の親に扶養されている18歳から20歳未満の子と親(親は入院のみ)</p> <p>助成の範囲</p> <p>保険内診療の医療費の内、自己負担限度額を超えた分を助成</p> <p>自己負担額(外来)</p> <p>・4歳未満児または低所得者 初診時一部負担金のみ(医科580円・歯科510円・道整複270円)</p> <p>・課税世帯 1割負担(限度額12,000円/月)</p> <p>自己負担額(入院)</p> <p>・就学前の児童または低所得者 初診時一部負担金のみ</p> <p>・課税世帯 1割負担(限度額44,400円) 所得制限あり</p>		
かかった経費は？(又は人力は？) [事業費内訳/事務ボリューム・人工]	<p>支給額</p> <p>児童扶養手当 259,946千円 ひとり親家庭等医療費助成 25,580千円 (1人工)</p>		
課題はあったのか？ [所管課の課題認識]	特になし。		
今年度の取り組み内容 [H18年度の取り組み状況]	<p>予算額</p> <p>児童扶養手当 569人 262,983千円 ひとり親家庭等医療費助成 8,735件 26,450千円</p>		
今後はどうしたい？ [これからの事業展開]	引き続き実施		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	スポーツ・青少年課	学童、思春期
事業名	「ふらっとくらぶ」の体制整備		
計画体系	5 - (3) - 不登校などへの支援体制の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	不登校等への早期の対応と学校復帰の支援を行う適応指導教室「ふらっとくらぶ」を核として、専門指導員による訪問指導・相談活動を充実し、子どもや家庭を支援します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	不登校児童への支援に関わる近隣市と連携を密にとったり、不登校児童への早期の対応と学校復帰の支援を行う適応教室「ふらっとくらぶ」に指導員2人と訪問相談員1人を配置することにより、専門指導員による訪問指導・相談活動の充実に努めた。		
ふらっとくらぶ	不登校児童生徒の集団生活への適応、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善のため、集団指導、個別指導により、社会的自立に資することを基本に、学校復帰を支援する。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】ふらっとくらぶ運営費 5,223,713円 人件費、消耗品費、燃料費など 【人工】スタッフ(3人)で運営(年間)		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	精神面による不登校が多いことから、家族、学校との連携を図り、長期対応が必要。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	H17年度同様、指導員2名と相談員1名のスタッフで運営をしている。特に学校訪問には力を入れ、早期対応に努める。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	学校・家庭とふらっとくらぶが情報交換を通じ、学校復帰が難しい児童生徒にとっても、安心して通える「居場所」となり、学校復帰の足がかりとなる居場所として確立していく。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	スポーツ・青少年課、こども相談センター	学童、思春期
事業名	早期発見、予防等に関するカウンセリング等の充実		
計画体系	5 - (3) - 不登校などへの支援体制の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	不登校等への早期の対応と学校復帰の支援を行う適応指導教室「ふらっとくらぶ」を核として、専門指導員による訪問指導・相談活動を充実し、子どもや家庭を支援します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	スポーツ・青少年課 市内各中学校の配置しているカウンセラーと連絡会議を実施したり、学校関係者を集めての不登校対策会議を開催することにより、不登校等への早期発見につとめ、学校復帰の支援を行った。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	スポーツ・青少年課 【人工】連絡会議における学校やカウンセラーの調整など 1人力		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	スポーツ・青少年課 不登校児童生徒に対する認識が学校(教諭)により違いがあり、対応が遅れるケースがある。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	スポーツ・青少年課 2、3日の休みでも迅速に保護者との連携を図り、早期発見、早期対応を目指す。 こども相談センター 見守りネット連絡会議による情報共有を図るとともに、必要に応じて関係機関につなげていくなどネットワークの機能を生かす。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	スポーツ・青少年課 学校教諭と相談員、ふらっとくらぶで情報の共有と対応について連携し、不登校の未然防止に努める。 こども相談センター 学校やふらっとくらぶと連携しながら、不登校児童の問題解決に向けた支援を図ってきたい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	スポーツ・青少年課	学童、思春期
事業名	スクールカウンセラー等の配置		
計画体系	5 - (3) - 学校を核とした悩み・相談への支援体制の拡充		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	学校にスクールカウンセラー等を配置し、児童生徒や保護者などが抱える悩み・相談を行います。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	花川中学校、花川北中学校及び花川南中学校にスクールカウンセラーを、石狩中学校及び樽川中学校に心の教室相談員を配置し、児童生徒、保護者等が抱える悩みの相談を行った。		
スクールカウンセラー	H7年より文部科学省にて不登校や問題行動の未然防止、早期発見、早期解決のため心の専門家であるスクールカウンセラーの配置をすすめ、当初は全国の中学校に配置する予定であった。現在石狩市では、花川中学校、花川北中学校、花川南中学校の3校に配置し、それぞれの中学校区の小学校も担当している。		
心の教室相談員	スクールカウンセラーが配置されていない樽川中学校と石狩中学校、厚田・浜益区の中学校を担当している相談員。臨床心理士ではないが、相談員等又はそれに準ずる経験・経歴があるものを採用し、子どもたちの悩みの解消に対応している。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	スクールカウンセラーについては、北海道から直接報酬がカウンセラーに支払われている。心の教室相談員に対する費用 1,316,738円		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	できれば、市内全中学校にスクールカウンセラーを配置できることが望ましい。さらに小学校も配置できればなお良い。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	ベースはH17年度と同様の配置であるが、厚田・浜益と合併した都合から、厚田・浜益で児童生徒や学校から要望があった場合は相談員を定期的に派遣する対応を行っている。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	市内全中学校に相談員を配置し、スクールカウンセラーの活用を図るとともに、未配置校をなくしていく。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	スポーツ・青少年課、こども相談センター	思春期
事業名	子育て支援事業の充実		
計画体系	5 - (3) - 学校を核とした悩み・相談への支援体制の拡充		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	問題行動への対応や学習へのつまづきを支援するため、学校を核とした地域で見守り育てるシステムづくりを充実します。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	<p>スポーツ・青少年課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・学級復帰を目的とした支援を指導員が行う「自立支援教室」を樽川中学校及び花川北中学校に設置。</li> <li>・子どもに関係のある機関がそれぞれ行うことができる支援について協議を行う「サポートチーム協議会」を年3回実施。</li> </ul> <p>こども相談センター</p> <p>学校を核とした地域で見守り育てるシステム作りの充実を目的として、虐待、いじめ、不登校等の支援が必要な児童や家庭に対し、全庁的に連携を図り、横断的に対応できる新たなネットワークづくりについて検討をした。</p>		
自立支援教室	H16年度より、文部科学省の委託事業である「問題行動に対する地域における行動連携推進事業」をうけ、花川北中学校に4名の指導員を配置し、スタート。あそび・非行型の不登校生徒や問題行動を起こす生徒を対象に学校・学級復帰、立ち直りを目的とし別室にて指導員が支援を行う。		
サポートチーム協議会【再掲】	自立支援教室と同様にH16年度より文部科学省の委託事業をうけ、取り組みを開始。いじめや暴力行為、非行といった問題行動を起こす生徒を対象として、学校の他、警察、児童相談所など関係機関が、問題解決に向け、どのような支援ができるかを協議し、その対象生徒を支援するサポートチームを編成し、具体的な支援を行っていくことを目的としている。H16年度においては花川北中学校区をモデル地区とし、北中学校区の生徒を対象としたが、H17年度より支援対象を市内全地域の生徒に拡大した。		
かかった経費は？(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>スポーツ・青少年課</p> <p>文部科学省の委託を受けているため(H18年度まで)市としては経費はかかっていない。</p> <p>こども相談センター</p> <p>特になし。</p>		
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	<p>スポーツ・青少年課</p> <p>保護者の理解、協力が得られないため、学校は支援にあたり、保護者をいかに巻き込んでいくかが課題である。</p> <p>こども相談センター</p> <p>「サポートチーム」や「自立支援教室」の取り組み状況が把握しにくい。</p>		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	<p>スポーツ・青少年課</p> <p>自立支援教室を樽川中学校、花川北中学校のほか、花川南中学校にも増設した。</p> <p>こども相談センター</p> <p>こども見守りネットワーク協議会を設置し、学齢児童の問題行動について、サポートチーム協議会と連携した支援を行う。</p>		
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	<p>スポーツ・青少年課</p> <p>保護者と学校が連携を図りながら、支援を推進する。</p> <p>こども相談センター</p> <p>連絡会議やサポートチーム協議会を通して情報を共有すると共に、連携して取り組んでいきたい。</p>		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	子育て支援課	学童、思春期
事業名	ボランティア活動やNPOを活用した社会参加・参画		
計画体系	6 - (1) - 地域やNPO法人等の協力による地域活動への参画の推進		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	地域の人材やNPO等の協力でボランティア活動等を通して、子どもの主体性や地域性を養います。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	<p>「次世代トークの広場～未来都市・いしかりを描こう～」(合併記念事業)          主催:実行委員会カトリック・ロードいしかり 期間:11/23 発表者:36名(市内中高生)          内容:市内中高生が未来の石狩に対する意見をワークショップ形式でまとめ市長と意見交換。</p> <p>「未来のいしかりへ・・・私たちの提言」作文コンクール(合併記念事業)          主催:3市村 協力:3市村の市民団体 期間:7/11～10/1 応募者:42名(小学4～6年)          内容:新しい石狩に対する夢や希望を作文で応募。朗読ボランティアなどの5市民団体と市長で優秀賞を選定。</p> <p>いしかりふるさと探検隊スリーラインキャンプ2005(合併記念事業)【再掲】          主催:青年会議所・市子連・3市村 期間:7/30～8/1 参加者:85名(小学4～6年)          内容:石狩・厚田・浜益の自然を宿泊学習を通じて体験するもの。</p> <p>ふるさと新発見バスツアー(合併記念事業)【再掲】          主催:市子連・3市村 期日:9/10(土) 参加者:20名(小学4～6年)          内容:石狩・厚田・浜益の自然を含めたふるさと見学。</p>		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>「次世代トークの広場～未来都市・いしかりを描こう～」(合併記念事業)          【経費】12万円(実行委補助10万円 記録DVD作成謝金2万円)          【人工】事前準備:職員2名で1月程度 ワークショップ3回 当日:職員7名で4日</p> <p>「未来のいしかりへ・・・私たちの提言」作文コンクール(合併記念事業)          【経費】24万円(作文集印刷製本17万円 その他応募者謝礼(図書券)など7万円)          【人工】職員2名で1月程度</p> <p>いしかりふるさと探検隊スリーラインキャンプ2005          【経費】青年会議所・市子連が支出。          【人工】準備に職員3名で実質4日程度 期間中は職員9名で3日</p> <p>ふるさと新発見バスツアー(合併記念事業)          【経費】市子連が支出。          【人工】準備に職員2名で実質2日程度 期間中は職員6名で1日</p>		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	H17年度は市村合併があったことから精力的に事業を実施したが、この事業の直接経費は少ないが事務ボリュームの負担が大きい。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	<p>ボランティアやNPOとの協働事業のスタイルを開発するため、新たな組み合わせや事業を行う。</p> <p>児童館を使った通学合宿          (市子連・子育て支援課・児童館のコラボレーション)</p> <p>町のはらっぱ事業          (子育て支援課・リサイクルプラザ・市子連・公民館のコラボレーション)</p>		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	事業の事務ボリュームが自他共に多大となるため、事業協働のスタイル(モデル)をある程度試行できたなら、精査のうえ、効果的な事業に的を絞って取り組んでいきたい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	子育て支援課	思春期
事業名	子どもに関する権利条約等の普及・啓発 子どもに関する権利条約のセミナー等の開催		
計画体系	6 - (2) - 子どもに関する権利に関する条約等の普及・啓発		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもの基本的人権の尊重を目的とする「児童の権利に関する条約」や子どもに関する法律等を周知・啓発活動など通じて、多岐にわたる子どもを取り巻く問題から、子どもの主体性を育み・守っていきます。		
H17年度の取り組み 【具体的内容】	「いしかりヤングフォーラム」(共催:市内4地区青少年育成協 H18.2.25 花川北コミセン) ・オープニング(高校生演劇) ・意見発表(中学生5名) ・講演(子どもの権利条約関係) ・アトラクション(高校生バンド) ・高校生による司会進行		
こどもの権利条約	1989年の国連総会において採決された。特徴としては、これまで単なる保護の対象であった子どもが、権利の主体として認められ、子どもに意見表明権を保障したところにある。この条約に批准した国は、必要な立法措置、行政措置その他の講ずることが定められており、条約規定遵守の義務を負う。日本では1994年から発効となった。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	事業費5万円 (講師謝金 3万円 消耗品など2万円)		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	子ども向けにこどもの権利の講演を行ったが、冬期間の実施ということもあり、多くの参加とはならなかったことが反省される。また大人向けの周知についての取り組みも課題と認識した。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	H18年度は、いしかり子ども総合支援会議と見守りネットワーク協議会との共催でフォーラムを予定。基調講演でこどもの権利条約を行う(大人向けの実施)。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	子どもの権利の周知・啓発は、子どもに対するものと大人に対するものを並行して取り進めていきたい。		